

口腔外用サクション

# フリーアーム・シーテクト

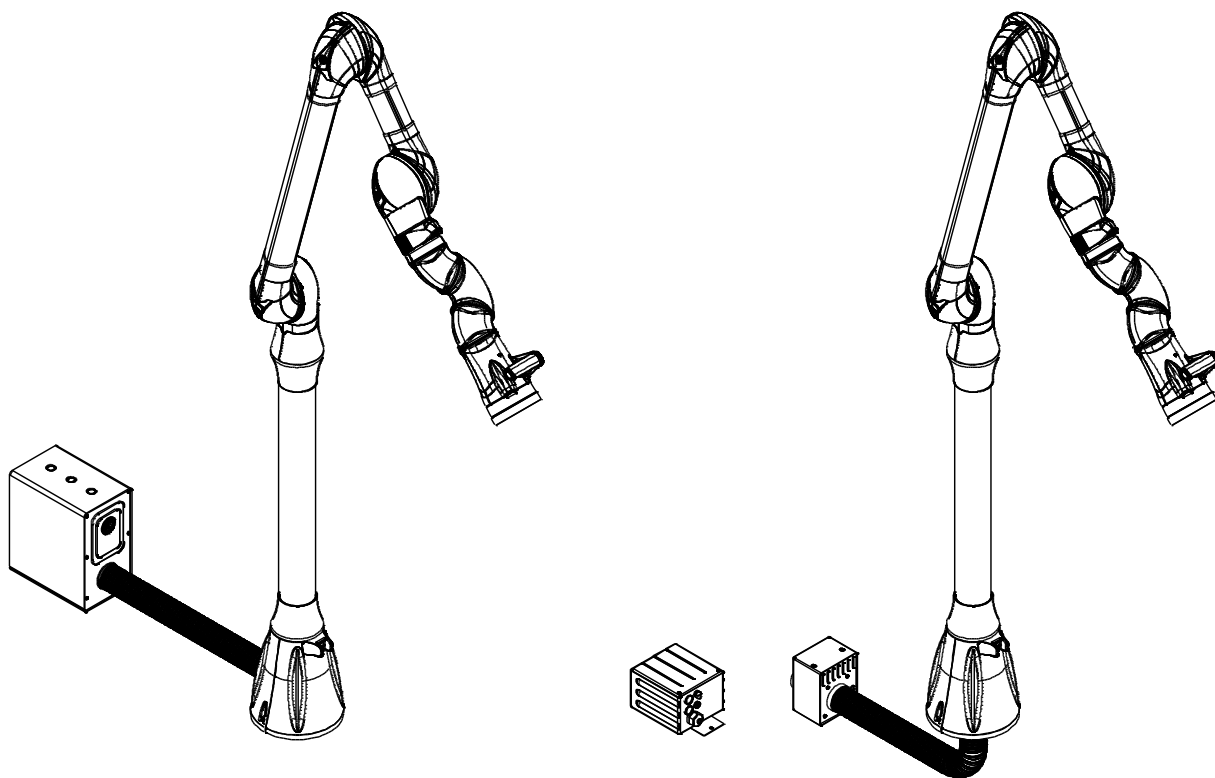
シーテクト-FI

## 取付要領書

医療機器認証番号

304AHBZX00013000

安全にお使いいただくために必ずお読みください。



このたびは、シーテクト-FI をご購入いただきまして誠にありがとうございます。

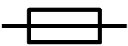











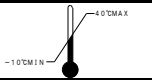


- 正しく取り付けして頂く為に、必ず取り付け前にこの取付要領書と取扱説明書をお読みください。
- この取付要領書と取扱説明書の **⚠** 警告、**⚠** 禁忌・禁止、**⚠** 注意を厳守してください。
- 指定以外の取付方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。
- 専門の担当者(当社又は当社指定の業者)が取り付けを行ってください。

正しく使って効率アップ

■機器の表示記号	3
■安全上のご注意	3～4
■医療用電気機器の安全及び危険防止のための使用上の注意事項	5
■輸送及び保管に関する環境条件について	6
■外観寸法	6～7
■概要	8
■梱包内容	9～10
■各部名称	11～14
■取付方法	15～40
◆ポールの設置	15～36
●シャッタ床上設置の場合	15～24
●シャッタ床下設置の場合	25～37
◆リモコン(オプション品)のペアリング	38～40
◆リモコン(オプション品)のペアリング解除	41
■仕様	42

## 機器の表示記号




機器に表示されているマークについて、下記を参照すること。

	ヒューズを意味します。
	電撃に対する保護の形式が「クラスⅡ機器」を意味します。
	可燃性・引火性の高いエアゾールであり、熱や火花に晒されると発火や容器破裂する恐れを意味します。
	目刺激性、気道刺激性、麻酔作用の健康有害性があることを意味します。
 <b>警告</b>	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると「使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
	取扱説明書に従うことを意味します。
	無線法令で定めている技術基準に適合している事を意味します。
	無線法令で定めている技術基準の工事設計認証を取得している事を意味します。
	包装貨物の中身は壊れやすいため、輸送時に注意して取り扱わねばいけないことを意味します。
	包装貨物の正しい上向き方向を表し、逆さや横積みしてはいけないことを意味します。
	包装貨物が水濡れしないようにしなければいけないことを意味します。
	包装貨物を直射日光にさらしてはいけないことを意味します。
	輸送時に周囲温度が-10℃から 40℃の範囲でなければいけないことを意味します。
	輸送時に相対湿度が 20%から 90%の範囲でなければいけないことを意味します。
	輸送時に気圧が 50kPa から 106kPa の範囲でなければいけないことを意味します。

## 安全上のご注意



本書ではお使いになる人や他の人への危害、財産の損害を未然に防止するため必ずお守りいただく内容を次のように説明しています。

- 安全に関わる注意事項を、その危険の大きさの程度によって、次の表示で区分して説明しています。



 <b>警告</b>	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると「使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
 <b>禁忌・禁止</b>	「特別な事情により本医療機器を適用すべきでない患者についての情報」、「使用目的や適応患者等、製造販売業者の責任範囲を超える不適切な使用方法」、「併用してはならない医療機器」を示しています。
 <b>注意</b>	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると「使用者が傷害を負う可能性が想定される内容や物的損害が想定される内容」を示しています。

## 安全上のご注意


- お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分して説明しています。

	してはいけない禁止事項を示しています。
	必ず実行していただく強制・指示事項を示しています。



### 警告

 禁止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リモコンの電池の液が漏れたときは素手で触らないでください。液が目に入ると失明の恐れがあります。液が体に付着すると皮膚の炎症や怪我の原因になります。</li> <li>・LED ライト及びセンサースイッチを直視しないでください。目に障害を与える可能性があります。</li> </ul>
 指示	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植込み型心臓ペースメーカ又は植込み型除細動器を使用している患者において本装置の使用、患者に異常が見られた場合は直ちに本製品の電源スイッチを切り、使用を中止してください。（本製品から発生される電磁波によりペースメーカ又は除細動器の機能に障害を与えるおそれがあります）</li> </ul>

### 禁忌・禁止

 禁止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・義歯などのチタン材料、有機溶剤（レジン液、アルコールなど）、可燃性異物の吸引は行わないでください。[火災等を引き起こす可能性があるため]</li> <li>・液体の吸引は行わないでください。[感電を引き起こす可能性があるため]</li> <li>・口腔外に飛散する飛沫を除去する目的以外での使用は行わないでください。</li> </ul>
-----------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 注意

 禁止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フードを外しての使用は行わないでください。</li> <li>・アームに必要以上の荷重や衝撃を与えないでください。</li> <li>・過熱する恐れがある光等、熱源にさらしての使用、放置は行わないでください。</li> <li>・吸引口付近に物を置かないでください。</li> <li>・センサースイッチの近くに、布や物を置かないでください。</li> <li>・患者及び幼児や子供が機器に触れないようにしてください。</li> <li>・機器の改造は行わないでください。</li> <li>・不具合状態及び未整備状態での使用は行わないでください。（未整備とは、保守点検を行っていない状態を言います）</li> <li>・変形、変色の恐れのある有機溶剤及び薬液の使用を行わないでください。</li> <li>・ドライバー及び工具等を使用しての分解は行わないでください。</li> <li>・感電防止のため、濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。</li> <li>・リモコンの電池は誤った使い方を使用しないでください。</li> <li>・リモコンの電池は充電できません。充電しないでください。[ガスが漏出する可能性があるため]</li> <li>・感電防止のため、濡れた手でリモコンを触らないでください。</li> <li>・感染防止のため、汚れた手や診療直後の手でリモコンを触らないでください。</li> <li>・レジン使用での治療中、LED ライトを照射しないでください。[レジンが固まる可能性があるため]</li> </ul>
 指示	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科用ユニット又は無影灯などの機器を動かす際には、本製品に接触させないでください。（患者への接触、あるいは本製品が破損するおそれがあります）</li> <li>・異常・故障時には直ちに使用を中止してください。</li> <li>・お手入れの際はアームスイッチを OFF にしてから作業を行ってください。</li> <li>・使い切った電池は、リモコンからすぐに取り出してください。（そのままリモコンの中に放置すると電池の液漏れや発熱、破裂の原因になります。）</li> </ul>

☆下記の原因により生じた故障・損傷につきましては、当社では責任を負いかねますのでご了承ください。

- ① 当社または当社の指定した業者以外による改造・保守及び修理
- ② 当社が納入した製品以外の他社製品が原因で、当社の製品が受けた故障・損傷
- ③ 当社指定の純正部品以外の補修部品の使用による改造・保守・修理
- ④ この取扱説明書に記載されている注意事項や操作方法を守らなかった場合
- ⑤ この取扱説明書に記載されている電源・設置環境など、本製品の使用条件を逸脱した周囲条件による場合
- ⑥ 火災・天災(地震・水害・落雷等)の場合

1. 歯科医師及びスタッフ以外は機器を使用しないでください。
2. 機器を設置するときには、次の事項に注意してください。
  - ①水のかからない場所に設置してください。
  - ②気圧、温度、湿度、風通し、日光、埃、塩分・硫黄分などを含んだ空気などにより悪影響の生ずるおそれのない場所に設置してください。
  - ③傾斜、振動、衝撃(運搬時を含む)など安定状態に注意してください。
  - ④化学薬品の保管場所や、ガスの発生する場所に設置しないでください。
  - ⑤電源の周波数と電圧及び許容電流値(又は消費電力)に注意してください。
  - ⑥設置場所には室温が5℃から30℃、相対湿度が30~75%になるように設置を行ってください。  
また、標高が2,000m以内(気圧80kPaから106kPa)の場所に設置するようにしてください。
3. 機器を使用する前にコードの接続が正確でかつ安全に接続されていることを確認してください。
4. 機器の使用中は次の事項に注意してください。
  - ①機器全般に異常のないことを絶えず監視してください。
  - ②機器に異常が発見された場合には機器の動作を止めるなど、適切な措置を講じてください。
  - ③機器に患者が触れることがないように注意してください。
5. 機器の使用後は次の事項に注意してください。
  - ①定められた手順により使用前の状態に戻した後、アームスイッチをOFFにし、電源プラグを抜いてください。
  - ②コード類の取り外しに際してはコードを持って引き抜くなど無理な力をかけないでください。
6. 故障した時は勝手にいじらず適切な処置を行い、修理は専門家に任せてください。
7. 機器は改造しないでください。
8. 異常音がする場合は使用しないでください。
9. 保守点検
  - ①清掃の方法  
取扱説明書【清掃方法】を参照してください。
  - ②しばらく使用しなかった機器を再使用するときには、使用前に必ず機器が正常にかつ安全に作動する事を確認してください。
  - ③使用中に異常が感じられた場合はアームスイッチをOFFにし、電源プラグを抜いて、購入先または当社に連絡してください。

本装置使用中に異常が感じられた場合はアームスイッチをOFFにし、電源プラグを抜いて、  
購入先または当社まで連絡してください。

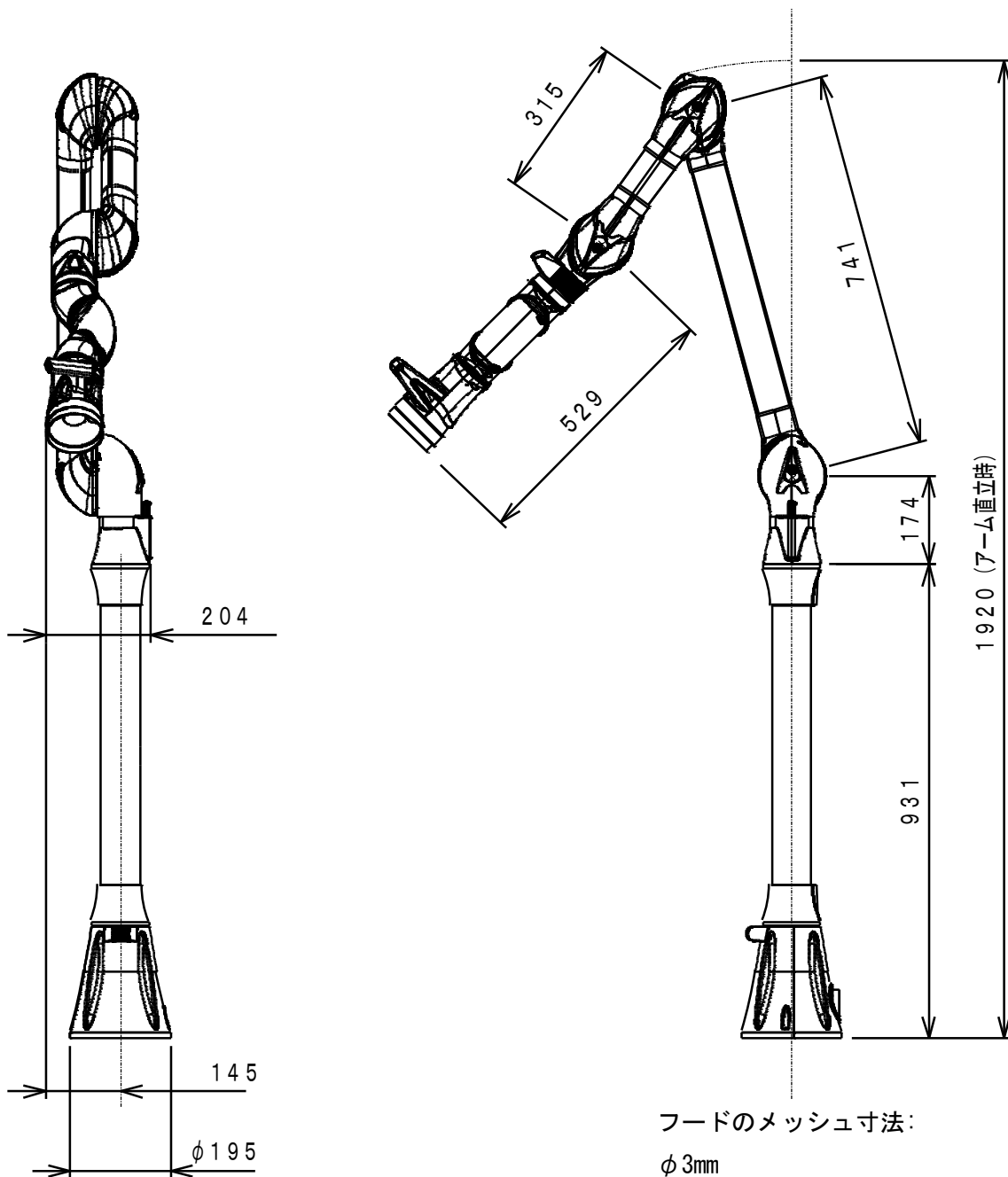
## 輸送及び保管に関する環境条件について

輸送及び保管に関しては下記の内容に注意してください。

- ①傾斜、振動、衝撃などの内容に輸送及び保管を行ってください。
- ②水がかからないように輸送及び保管を行ってください。
- ③気圧、風通し、日光、埃、塩分・硫黄分を含んだ空気などにより悪影響のない場所に輸送及び保管を行ってください。
- ④化学薬品の保管場所や、ガスの発生する場所に保管しないでください。
- ⑤周囲温度範囲-10℃から40℃、相対湿度20%から90%(非結露)、気圧が50kPaから106kPaの範囲で輸送及び保管してください。

## 外観寸法

- アーム、フード、ポール



フードのメッシュ寸法:

$\phi 3\text{mm}$

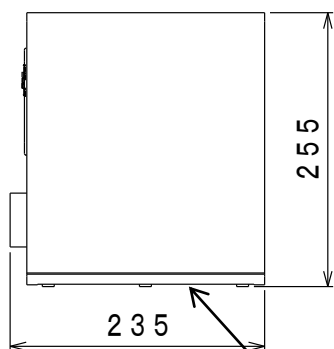
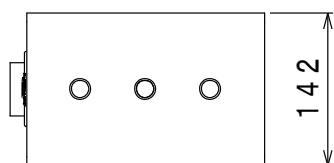
アーム+ポール質量:

約 6.8kg

# 外観寸法

● シャッタ

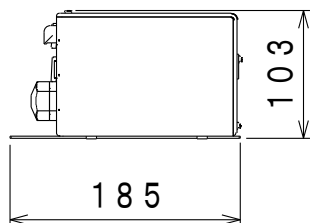
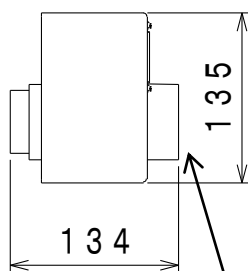
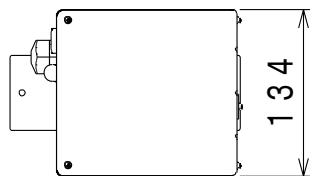
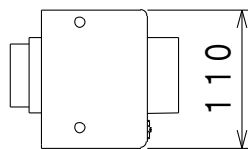
○ 床上設置



シャッタ質量：  
約 5.0kg

VU50 へ接続

○ 床下設置

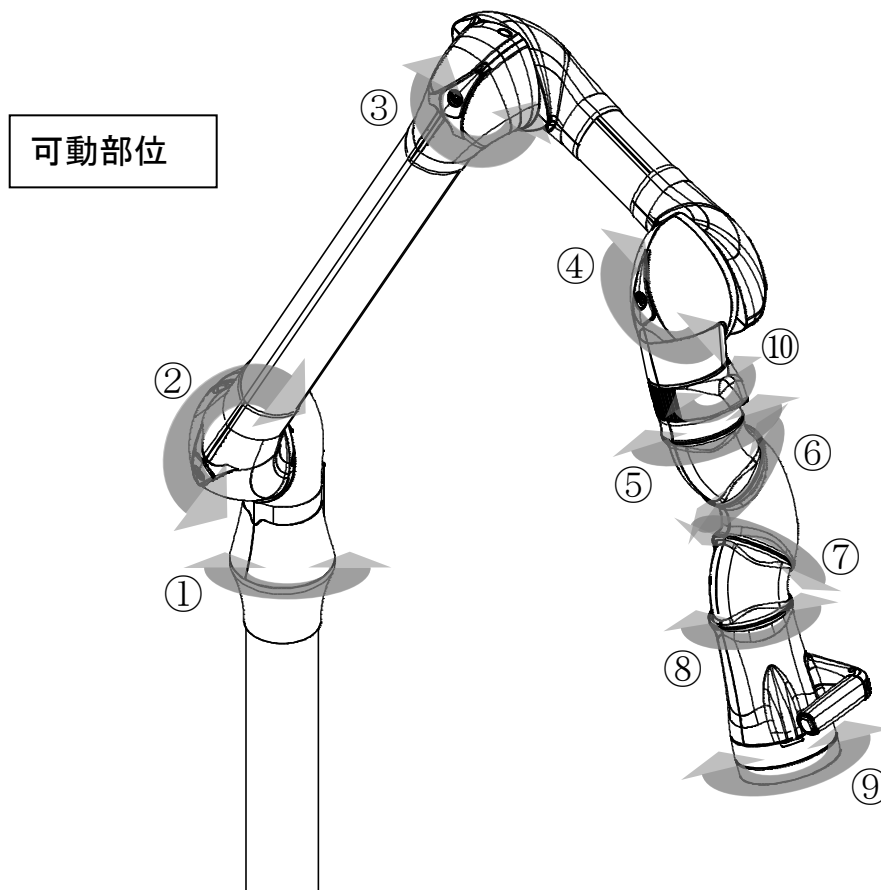


シャッタ質量：  
約 3.6 kg

DV 継手ソケット DS50 へ接続

\* 寸法は予告なく変更することが御座います。  
\* 寸法単位は mm (公差±10mm)

- ・本製品は、歯科治療患者に対しての歯科治療において、高速切削等により口腔外に飛散する飛沫（血液や唾液及び歯の破片）を除去する目的として使用します。
- ・歯科治療に関する知識を有する歯科医師及び歯科衛生士のみが使用できる製品です。
- ・フード、アーム、ポール、ホース、シャッタで構成されています。
- ・診療室に設置しポールを床に固定する固定形機器です。
- ・アームのみ可動し、可動部位は下図の①～⑩で、吸引口（①～⑨）及びセンサースイッチ（⑩）の位置を任意に設定できます。
- ・別途で用意する歯科用吸引装置ポンプと配管接続し、アームのセンサースイッチに手をかざすことで、シャッタの開閉弁が開き、操作線がONになります。  
操作線がONになることで、歯科用吸引装置ポンプが始動し、負圧がかかることで、アーム内に風が流れます。  
この風により、歯科治療中に口腔外に飛散する飛沫を吸引除去できます。
- ・別途用意するリモコンのボタンをONにすることでクリーニングモードが作動します。シャッタの開閉弁が僅かに開いた状態となり、歯科用吸引装置ポンプが吸引することによって、微風量でアーム内を乾燥することができます。
- ・フード及びグリップは取り外し可能で、患者ごとに都度取り外し・清掃を行ってください。
- ・製品、消耗品は医療廃棄物として廃棄してください。
- ・周囲温度 5℃から 30℃、相対湿度 30%から 75%の環境、標高が 2,000m 以内（気圧 80kPa から 106kPa）の場所で使用してください。



## ⚠ 注意



指示

- ・各関節には、ストッパーがついていますので、一定以上の回転はできません。アームの位置決めは関節の可動範囲内で静かに操作してください。（大きな力をかけるとストッパーが破損し、故障の原因になります。）
- ・各関節は回転方向に沿って操作し、それ以外の方向へ動かさないでください。
- ・アーム操作を行う際は、各カバーの穴に触れないようにしてください。



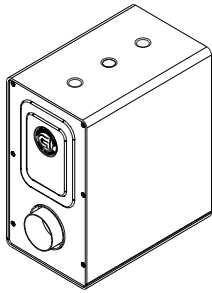
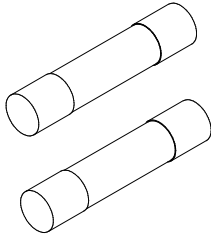
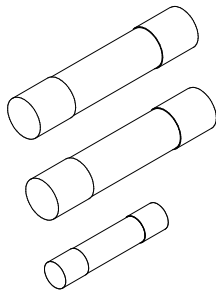
# 梱包内容

開封後、下記内容が揃っていることを必ず最初に確認してください。


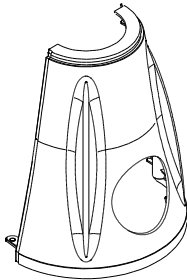

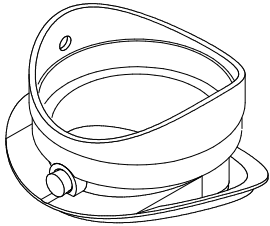
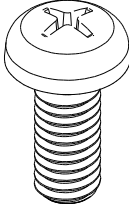
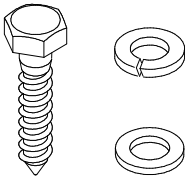
## ◆梱包構成

- ・アームセット
- ・シャッタセット
- ・ポールセット
- ・ホースセット

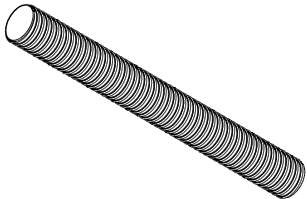
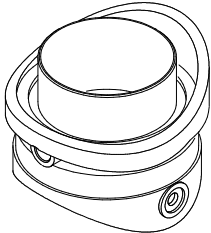
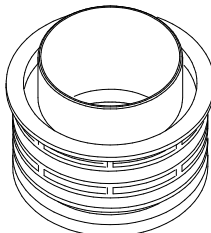
アームセット			
			
アーム ×1台	フードセット (Nフード・Lフード) ×1個	サイレントフィルタ ×2個	掃除用キット ×1個
			
取扱説明書 ×1枚	取付要領書(本紙) ×1枚	添付文書 ×1枚	

シャッタセット		
		
シャッタ ×1台	ヒューズ(2A) ×2個 ※	予備用ヒューズ(2A) ×2個 予備用ヒューズ(1A) ×1個 ※

※ヒューズ及び予備ヒューズはシャッタ内部の基板ボックスに付属されております。

ポールセット		
		
固定用ポール×1本 ※	穴付きポールカバー ×1個	ポールカバー ×1個
		
I型キャップ(ゴム栓付き) ×1個	M4×10 ネジ ×2個 (穴付きポールカバー、 ポールカバー取付用)	コーチスクリュー、平ワッシャ、 SWワッシャ ×4個ずつ (固定用ポール取付用)

※固定用ポールはシャッター床上設置の状態ですべて梱包されており、F型キャップがM4×8ネジ×2個で取付済み。

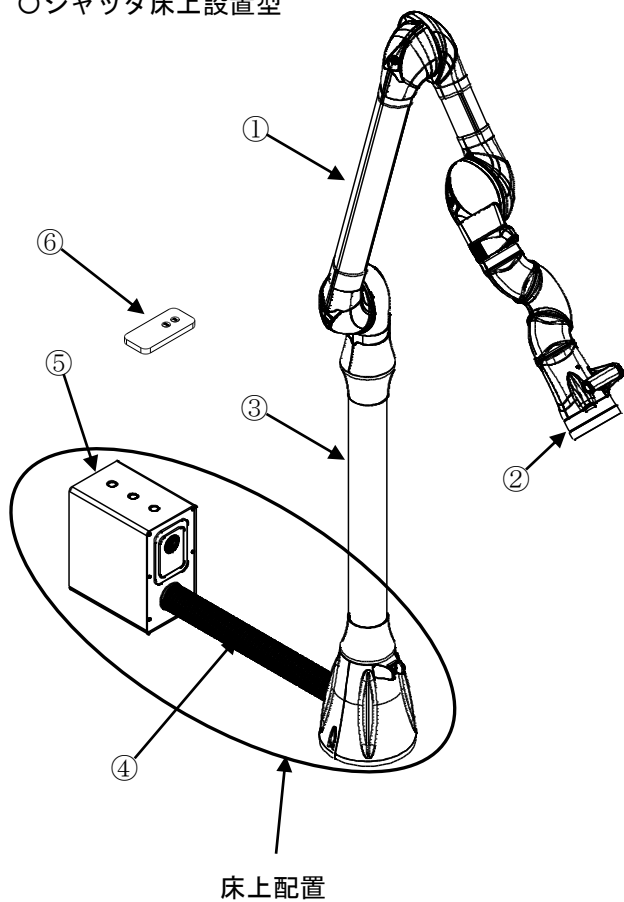
ホース		
		
フレキホース 1m ×1本	F型ソケット ×1個	I型ソケット ×1個

# 各部名称

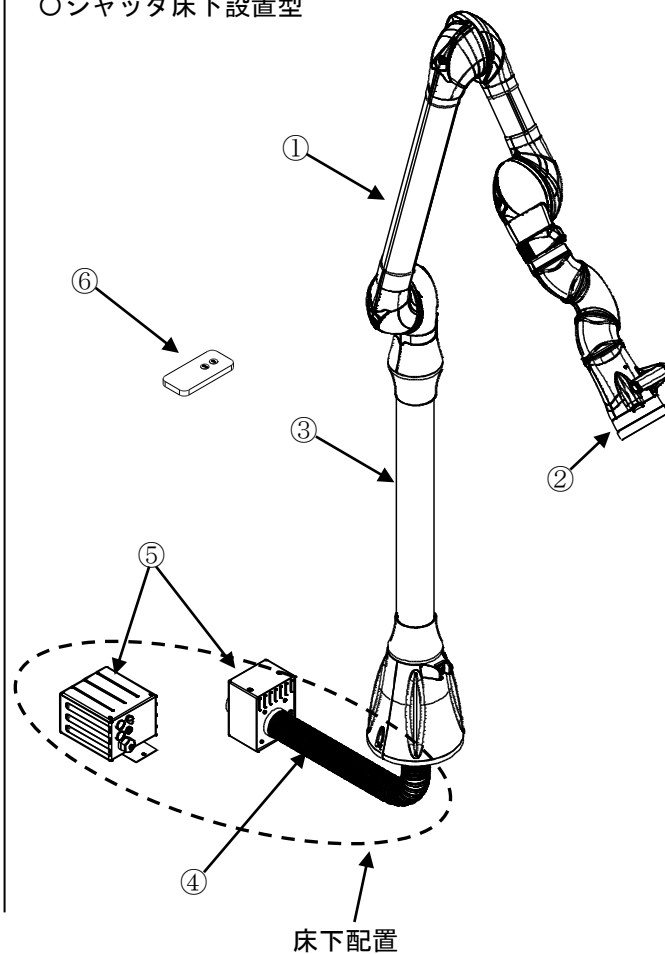
## ●全体構成

設置方法によりシャッタを床上又は床下に設置することができます。

○シャッタ床上設置型



○シャッタ床下設置型

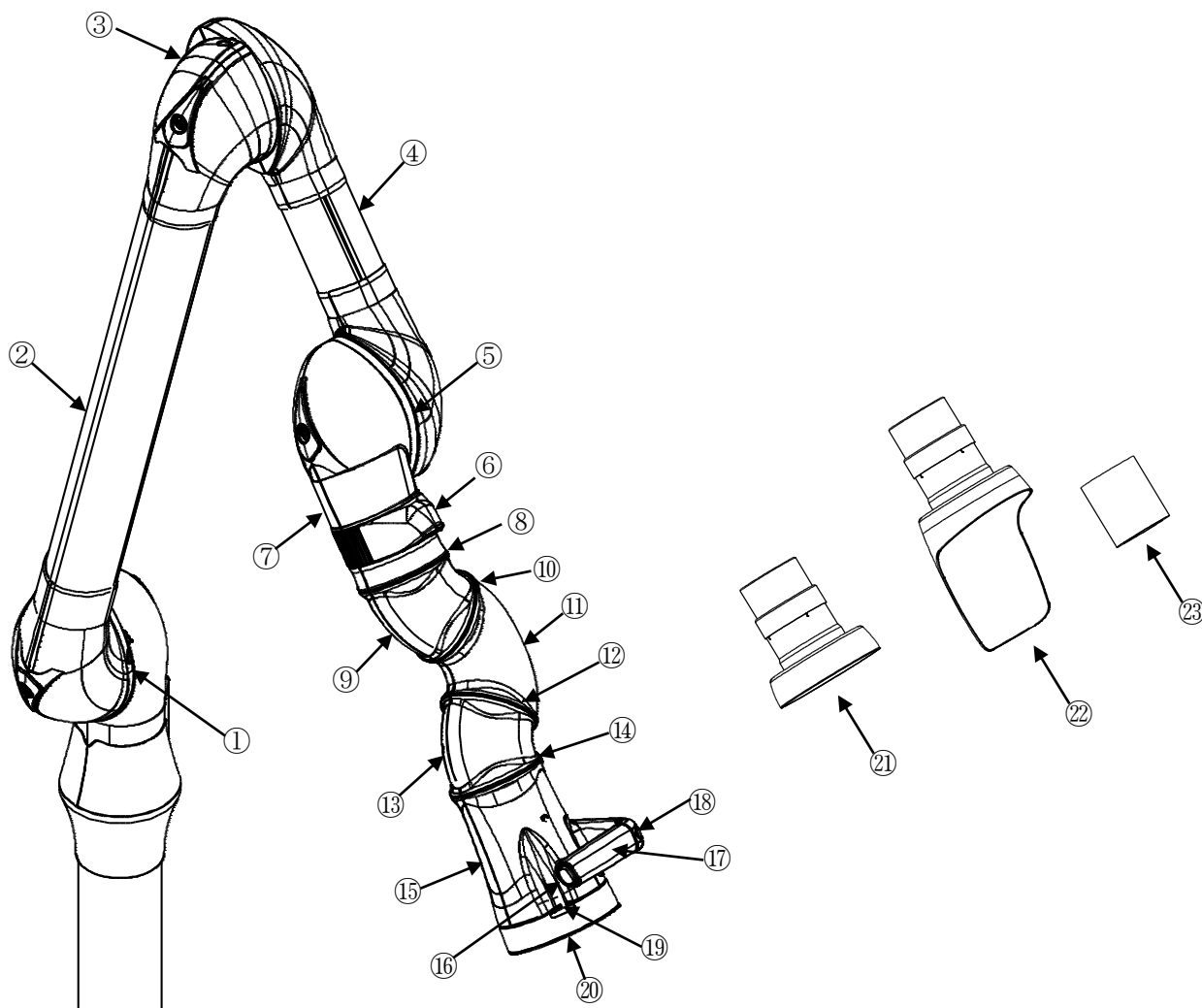


番号	品名	備考
1	アーム	本取付要領書 P. 12 に詳細を記載
2	フード	本取付要領書 P. 12 に詳細を記載
3	ポール	本取付要領書 P. 13 に詳細を記載
4	ホース	本取付要領書 P. 13 に詳細を記載
5	シャッタ	本取付要領書 P. 13 に詳細を記載
6	リモコン	オプション品。本取付要領書 P. 14 に詳細を記載

# 各部名称

## ●フード・アームの詳細

(シャッタ床上設置型、床下設置型共通)

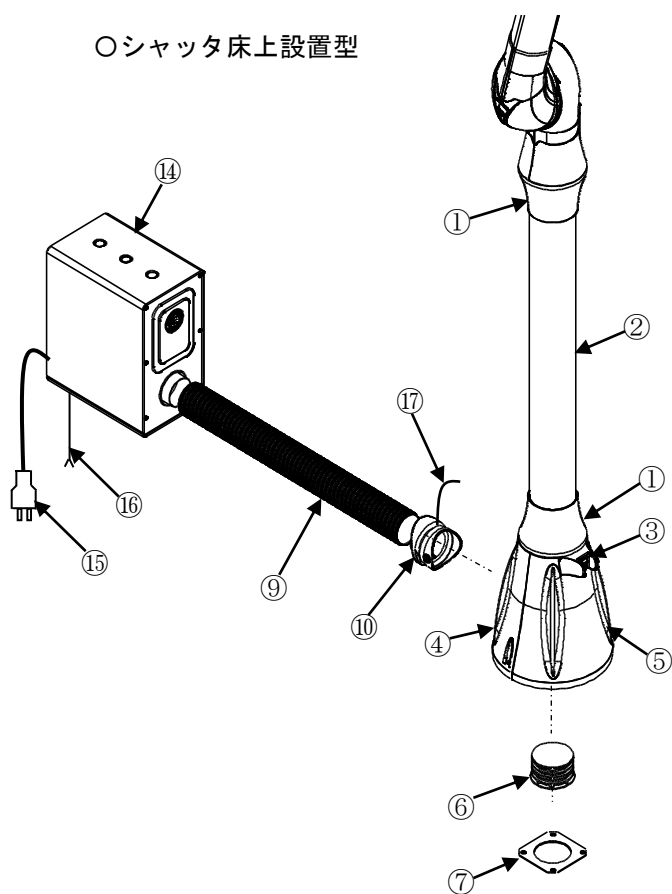


品名	番号	各部名称	備考
アーム	1	第1関節	
	2	第1アーム	
	3	第2関節	
	4	第2アーム	
	5	第3関節	
	6	センサースイッチ	
	7	第3アーム	
	8	第4関節	
	9	第4アーム	
	10	第5関節	
	11	第5アーム	
	12	第6関節	
	13	第6アーム	
	14	第7関節	
	15	第7アーム	
	16	LEDライトスイッチ	
	17	グリップ	グリップカバー付き
	18	グリップリリースボタン	
	19	フードリリースボタン	
	20	LEDライト	
フード	21	Nフード	消耗品
	22	Lフード	消耗品
	23	サイレントフィルタ	消耗品

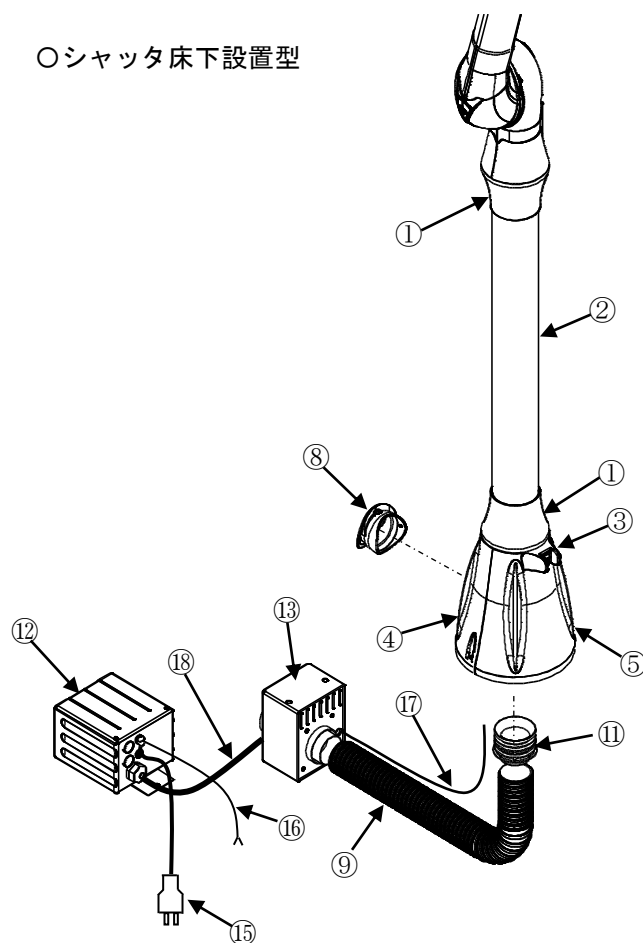
# 各部名称

## ●ポール・ホース・シャッタの詳細

○シャッタ床上設置型



○シャッタ床下設置型



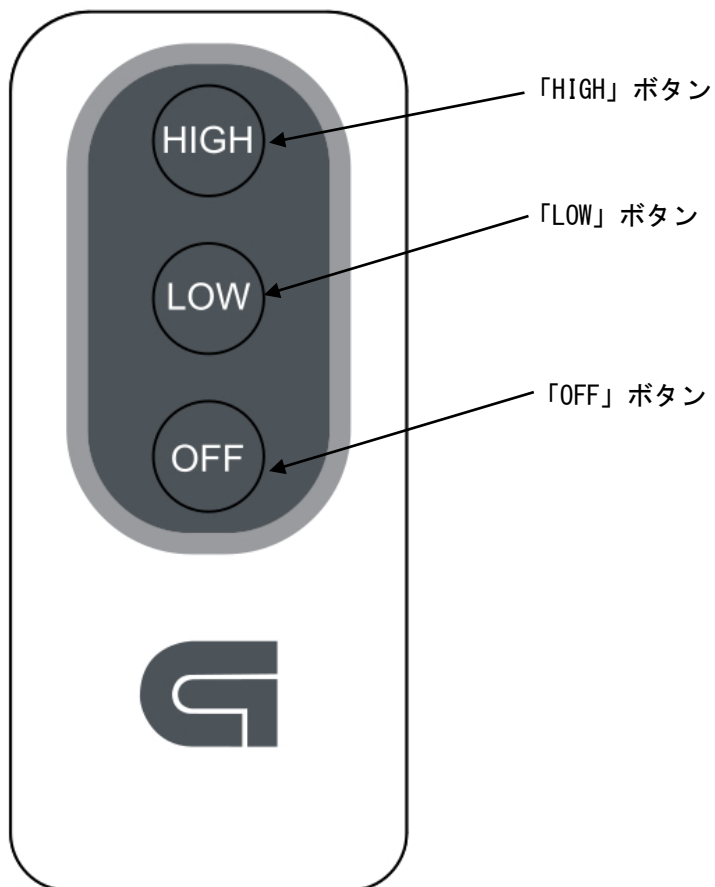
※シャッタ床下設置型でも信号線をホースの中を通して、設置することができます。

品名	番号	各部名称	備考
ポール	1	ポールカバーリング	
	2	固定用ポール	
	3	アームスイッチ	
	4	穴付きポールカバー	
	5	ポールカバー	
	6	F型キャップ※	シャッタ床上設置用、0リング1個付き、梱包時取付済み
	7	パッキン板※	シャッタ床上設置用、梱包時取付済み
	8	I型キャップ※※	シャッタ床下設置用
ホース	9	フレキホース	
	10	F型ソケット※	シャッタ床上設置用
	11	I型ソケット※※	シャッタ床下設置用、0リング1個付き
シャッタ	12	基板ボックス	シャッタ床下設置用
	13	シャッタボックス	シャッタ床下設置用
	14	シャッタ	シャッタ床上設置用、基板ボックス、シャッタボックス内蔵
	15	電源コード	交換不可能
	16	操作線	2芯
	17	信号線	8芯
	18	シャッタボックス接続線※※	シャッタ床下設置用、15Pコネクタ付き

※：シャッタ床上設置用のみで使用  
 ※※：シャッタ床下設置用のみで使用

# 各部名称

## ●リモコン(オプション品)の詳細



表面



裏面



技適マーク及び番号

※製造番号, S/N は各異なります。

## 取付方法

本取付要領書は標準的な設置例になります。

取付現場によっては、取付方法や使用部材が異なる場合があります。

シャッタ床上設置とシャッタ床下設置で取付方法や使用部材が異なります。

### ⚠ 注意



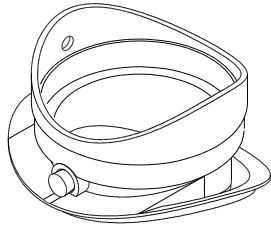
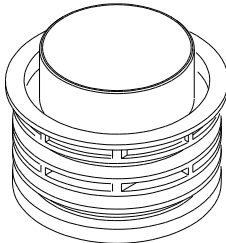
指示

- ・ 静電気による故障防止のため、グローブを着用して作業を行ってください。
- ・ 作業前は体内の静電気を除去してください。
- ・ 床がコンクリートの場合は、M8のオールアンカーをご使用ください。  
オールアンカーは付属しておりません。  
(オールアンカー例) サンコーテクノ株式会社 C-870

### ◆ ポールの設置

#### ● シャッタ床上設置の場合

シャッタ床上設置において、下記部材は使用しません。

シャッタ床上設置 未使用部材一覧	
	
I型キャップ(ゴム栓付き) ×1個	I型ソケット ×1個

- ① 固定用ポールの設置位置とシャッタの設置位置の関係を確認の上、フレキホースを適当な長さにカットしてください。

### ⚠ 注意

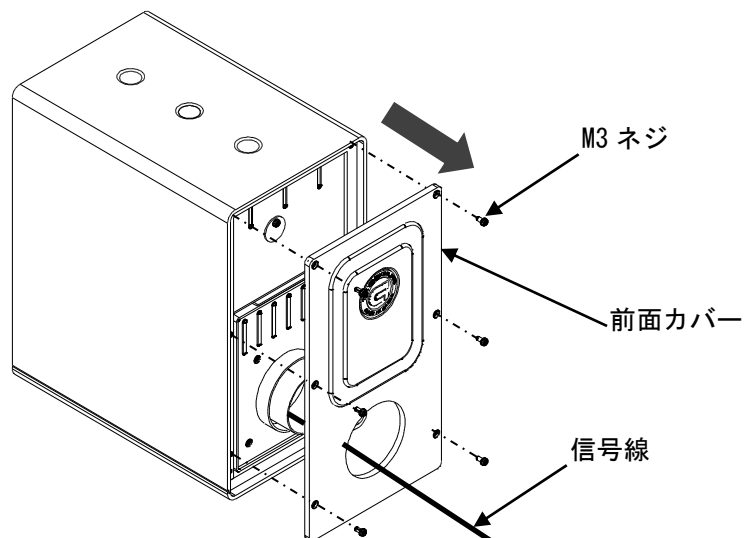


指示

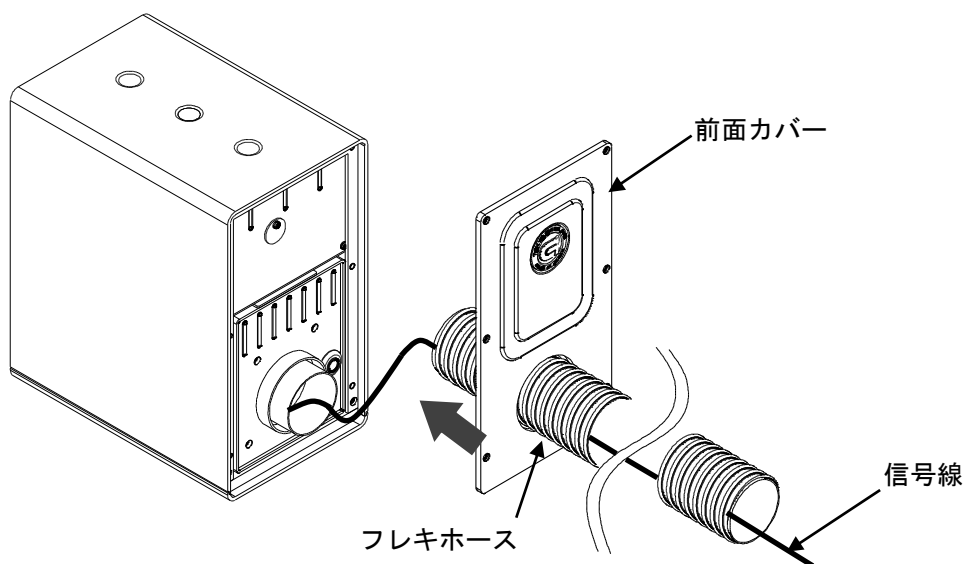
- ・ フレキホースの長さは突っ張ることが無いように長さに余裕を持たせてください。  
フレキホースが最短の長さの場合、接続部に負担がかかり吸引漏れや破損の原因になります。

## 取付方法

②F型用カバーの前面カバーのネジ6点を取り外し、前面カバーを取り外してください。



③取り外した前面カバーにホースを通してください。このとき信号線はフレキホースの内部を通し、外側へ出してください。



### ⚠ 注意



禁止

・信号線を無理に引き出さないでください。



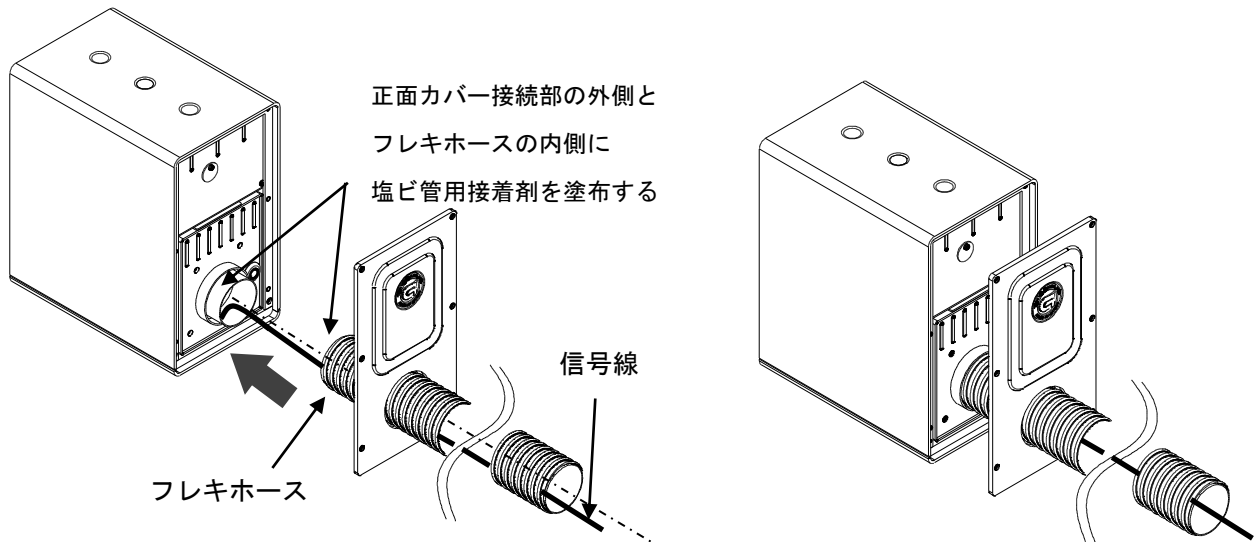
指示

・組み直した際に前面カバーのロゴが外側に向くことを確認してください。



## 取付方法

④シャッタボックスのホース接続部にフレキホースを塩ビ管用接着剤で接着してください。



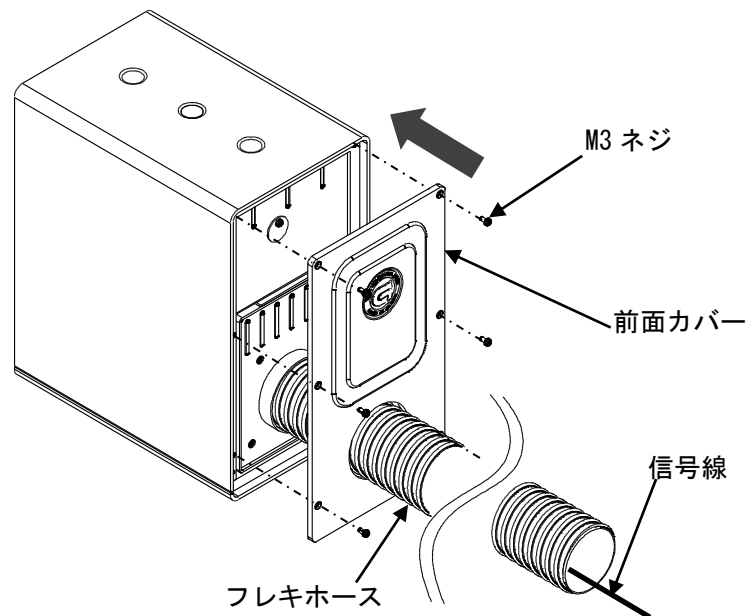
### ⚠ 注意



指示

- ・適量使用し漏れなく接着してください。
- ・接着後、フレキホースが外れないことを確認してください。

⑤ネジ 6 点で前面カバーを F 型用カバーに取付けてください。



### ⚠ 注意

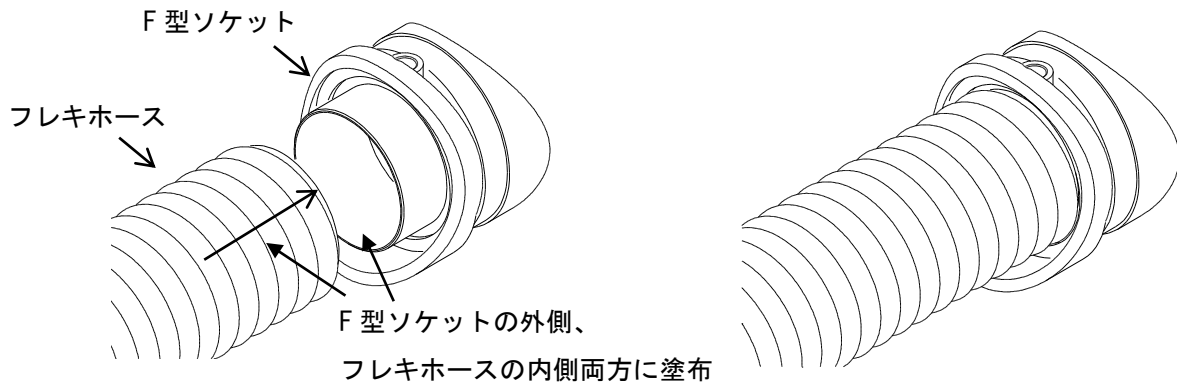


指示

- ・シャッタのロゴが外に向き、正しく組み立てられていることを確認してください。
- ・フレキホースの先端から信号線が出ていることを確認してください。

## 取付方法

- ⑥フレキホースとF型ソケットを塩ビ管用接着剤で接着してください。  
 ※塩ビ管用接着剤は同梱されていません。



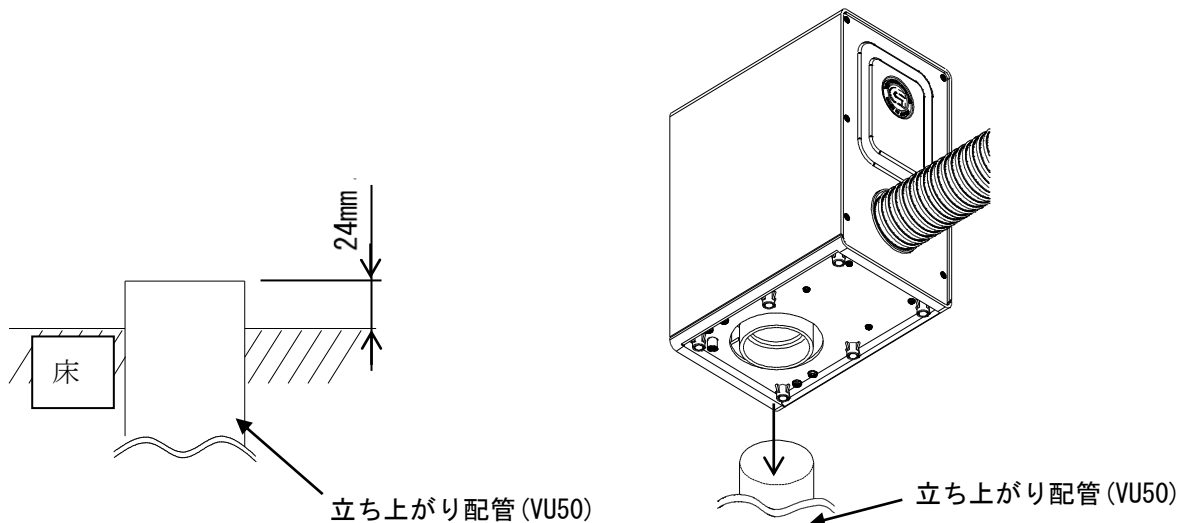
### ⚠ 注意



指示

- ・適量使用し漏れなく接着してください。
- ・接着後、フレキホースとF型ソケットが外れないことを確認してください。

- ⑦立ち上がり配管を床面から24mmの高さでカットして、シャッタを立ち上がり配管(VU50)と接続してください。



### ⚠ 注意



禁止

- ・シャッタと立ち上がり配管は接着しないでください。

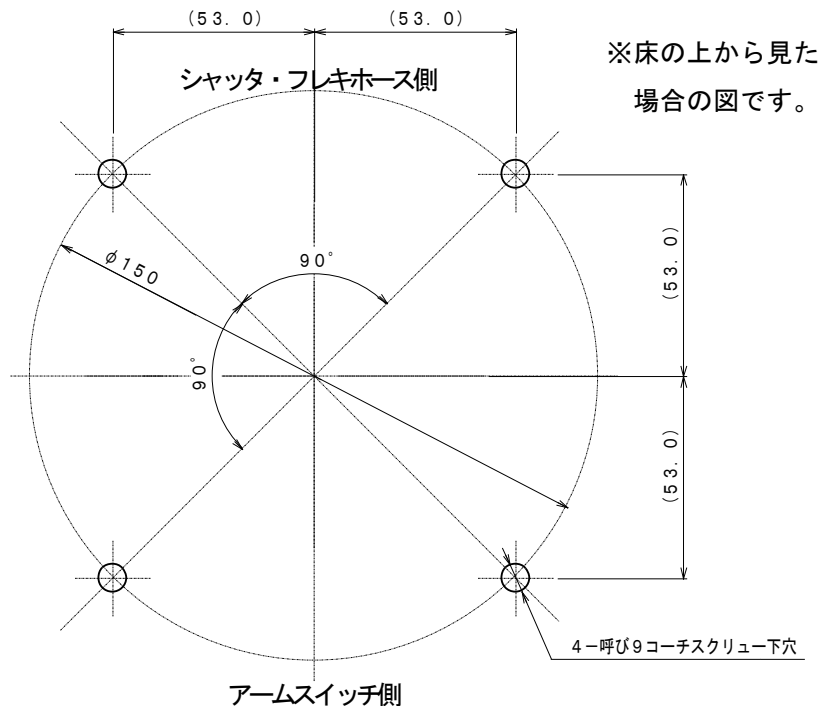


指示

- ・立ち上がり配管の高さは必ず合わせてください。  
立ち上がり高さが高い場合はシャッタの足が床面から浮き、事故や破損の原因となります。  
短い場合はエア漏れが発生の原因となります。

## 取付方法

- ⑧固定用ポールの設置箇所を確認し、必要に応じてコーチスクリューの床面に下穴加工を行ってください。  
 ※メンテナンスやポールのアームスイッチのON・OFFができるようなスペースは確保してください。



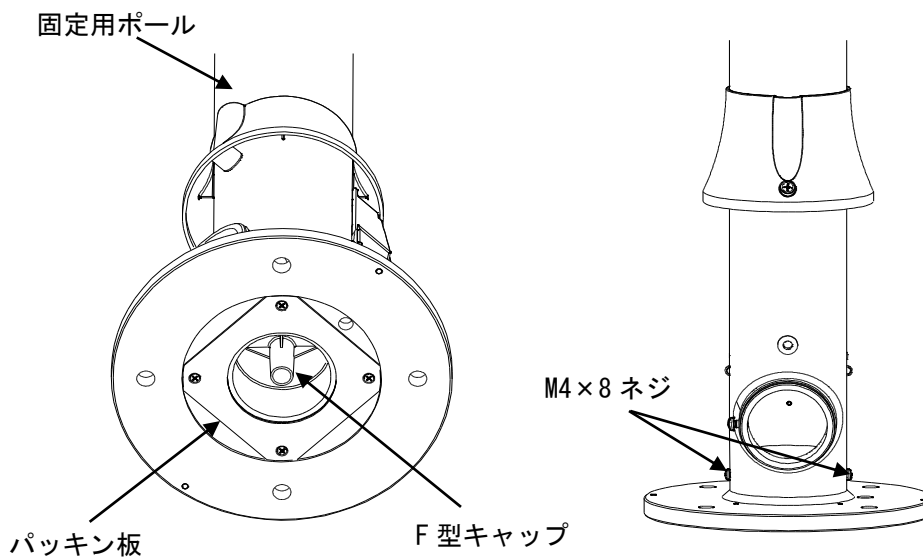
### ⚠ 注意



指示

- ・取付角度(アームスイッチ及びシャッタ・フレキホースの設置方向)を確認してから穴を開けてください。
- ・取付床面に傾きや凹凸がないことを確認してください。

- ⑨固定用ポールはシャッタ床上設置用で梱包されています。固定用ポール底部にF型キャップとパッキン板正しく装着されていることと、F型キャップがM4×8ネジ2点で固定されているかを確認してください。



### ⚠ 注意

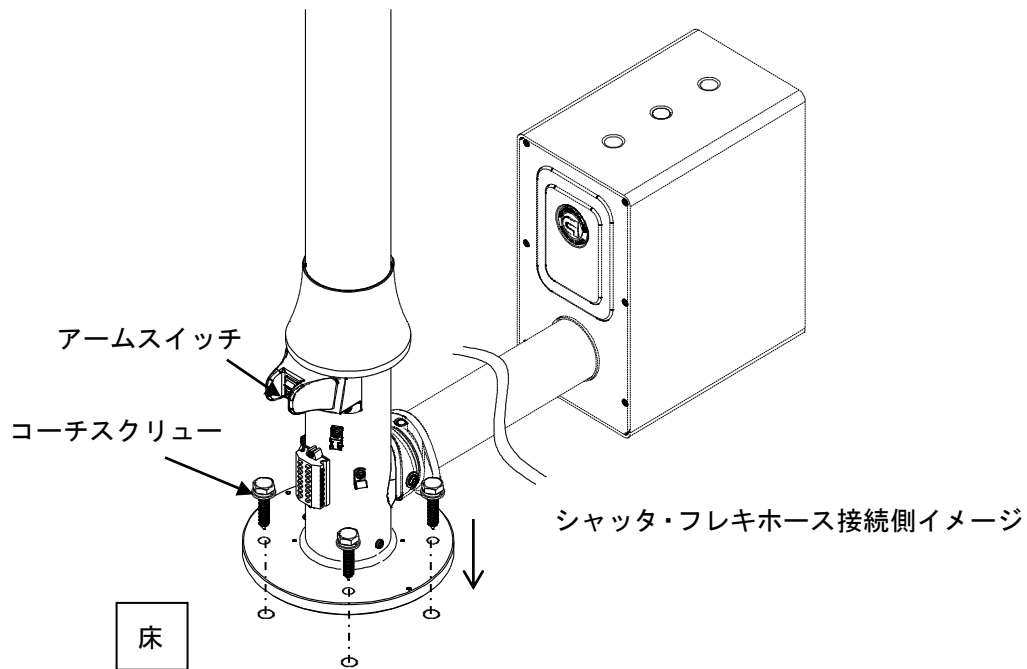


指示

- ・固定用ポール底部にF型キャップとパッキン板正しく装着されていることを確認してください。
- ・F型キャップがM4×8ネジ2点固定されているかを確認してください。

## 取付方法

⑩ 附属品のコーチスクリューに SW ワッシャ、平ワッシャを入れ、4 点で固定用ポールを床に設置してください。



### ⚠ 注意



禁止

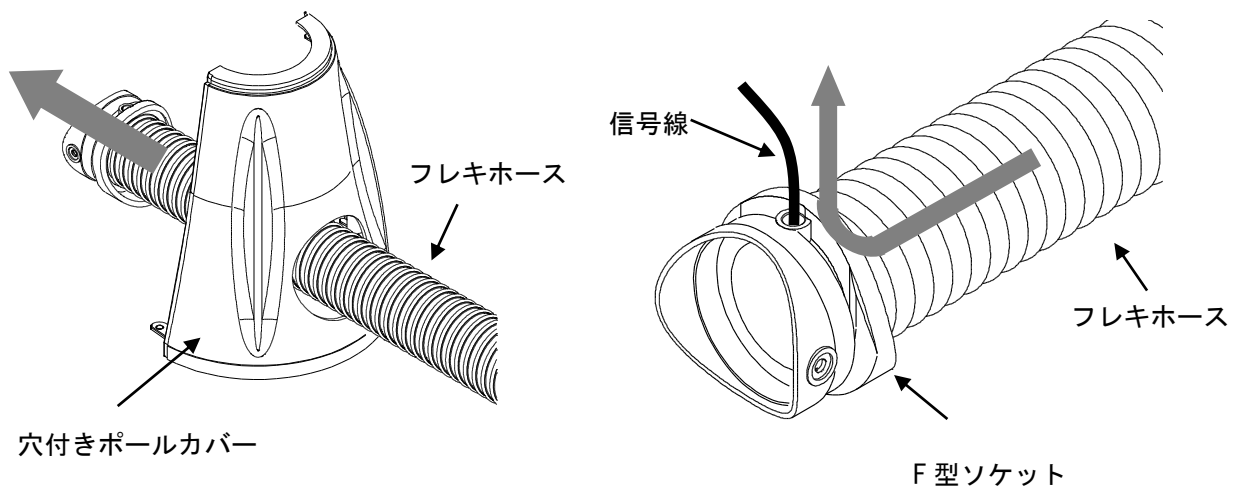
・一度取り付けたコーチスクリューは取り外さないでください。  
万が一、間違えて取付を行ってしまった場合、コーチスクリューの下穴を別の場所や角度を変更し再度開けてから取付を行ってください。



指示

・取付角度(アームスイッチ及びシャッタ・フレキホースの設置方向)を確認してから取り付けてください。

⑪ 穴付きポールカバーにフレキホースを通し、F 型ソケットの内側から外側へ信号線を出してください。



### ⚠ 注意

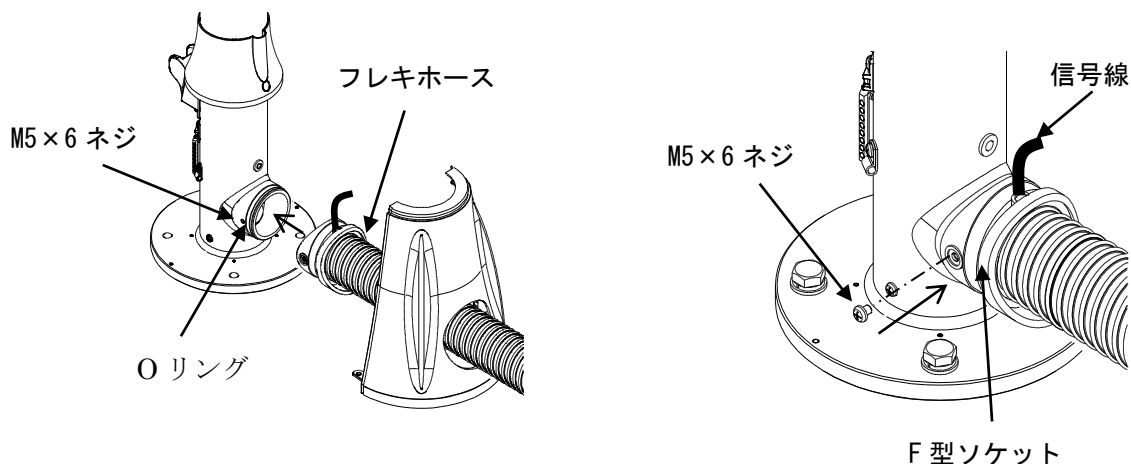


指示

・信号線はフレキホース内で突っ張ることが無いように長さに余裕を持たせてください。

## 取付方法

- ⑫固定用ポールの側部に止められている M5×6 ネジ 1 点を外し、固定用ポールの側部にフレキホースを接続してください。接続は信号線が上側を向くようにして F 型ソケットが奥に突き当たるまで差し込み、外した M5×6 ネジで固定してください。



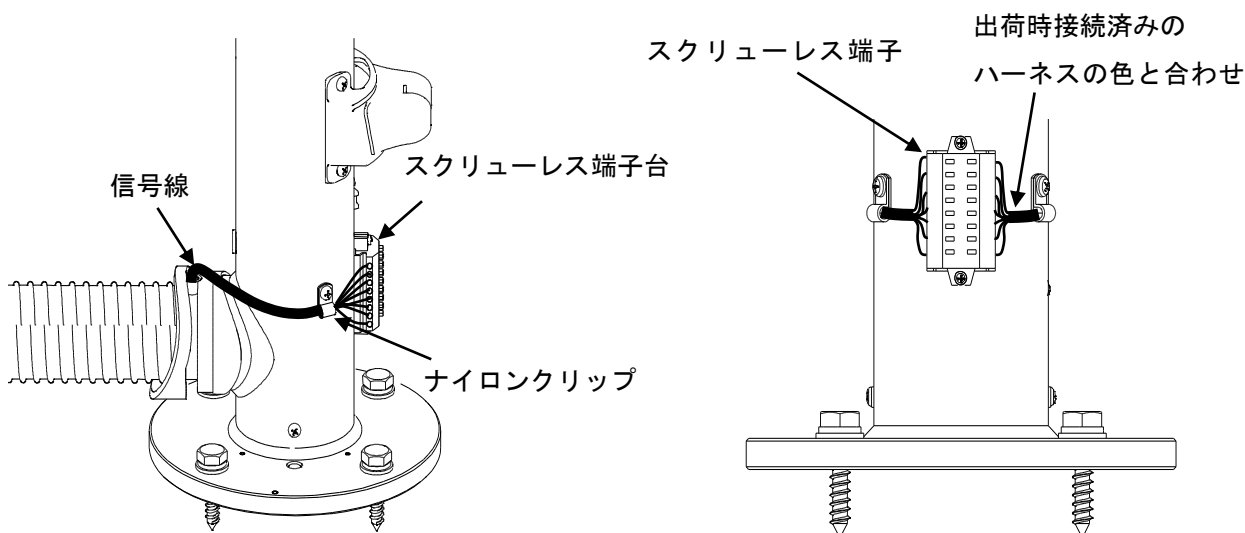
### ⚠ 注意



指示

- ・固定用ポールの側部に O リングが装着されていることを確認してください。

- ⑬信号線を下図のように引き回し、適当な長さにカットして被覆を先端から約 10mm 剥いてください。信号線をスクリーレス端子台に接続し、ナイロンクリップにて固定してください。スクリーレス端子台への接続は相手のハーネスの色に合わせてください。



### ⚠ 注意

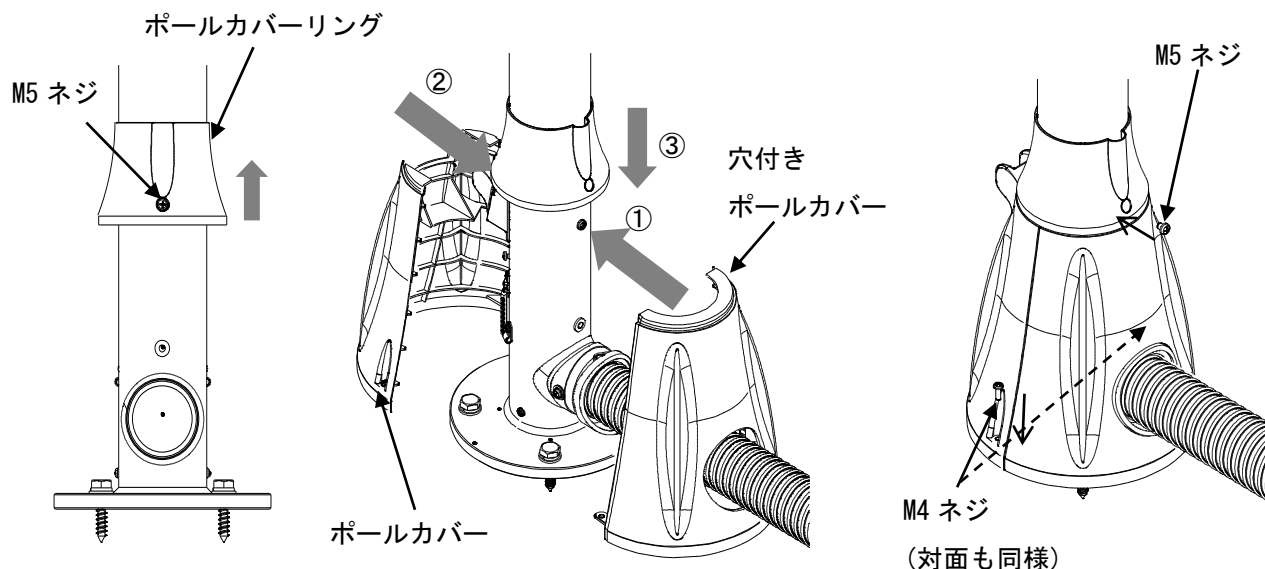


指示

- ・信号線のカットは接続時に突っ張ることが無いように長さに余裕を持たせてください。
- ・信号線それぞれの接続ミスが起こらないように必ず色を合わせてください。接続ミスをするるとショートして基板が破損してしまう可能性があります。
- ・信号線それぞれをスクリーレス端子台に取り付けた後、軽く引張り、スクリーレス端子台から抜けることがないことを確認してください。

## 取付方法

- ⑭ 下側のポールカバーリングの M5 ネジ 1 点を外し、ポールカバーリングを少し上へスライドさせ、穴付きポールカバーとポールカバーを固定台ポールに取付けてください。  
 再度ポールカバーリング下部を下へスライドさせ、M5 ネジ 1 点で取り付けてください。  
 また附属品の M4×10 ネジ 2 点で穴付きポールカバー及びポールカバーを固定してください。



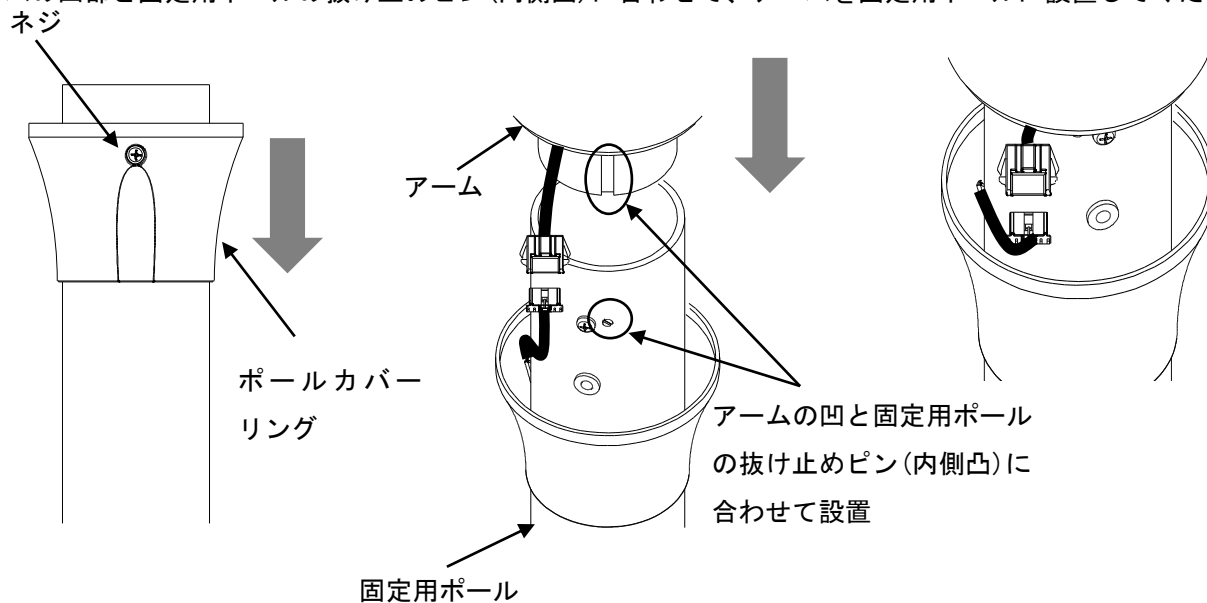
### ⚠ 注意



指示

- ・ポールカバーリングを上へスライドさせる際、ハーネスが引っ張られないように注意してください。
- ・ネジの締め込み過ぎに注意してください。
- ・ポールカバーリングや穴付きポールカバー、ポールカバーの材質が樹脂のため、潰れる可能性があります。

- ⑮ 上側のポールカバーリングのネジ 1 点を外し、ポールカバーリングを下へスライドさせてください。  
 アームの凹部と固定用ポールの抜け止めピン(内側凸)に合わせて、アームを固定用ポールに設置してください。



### ⚠ 注意

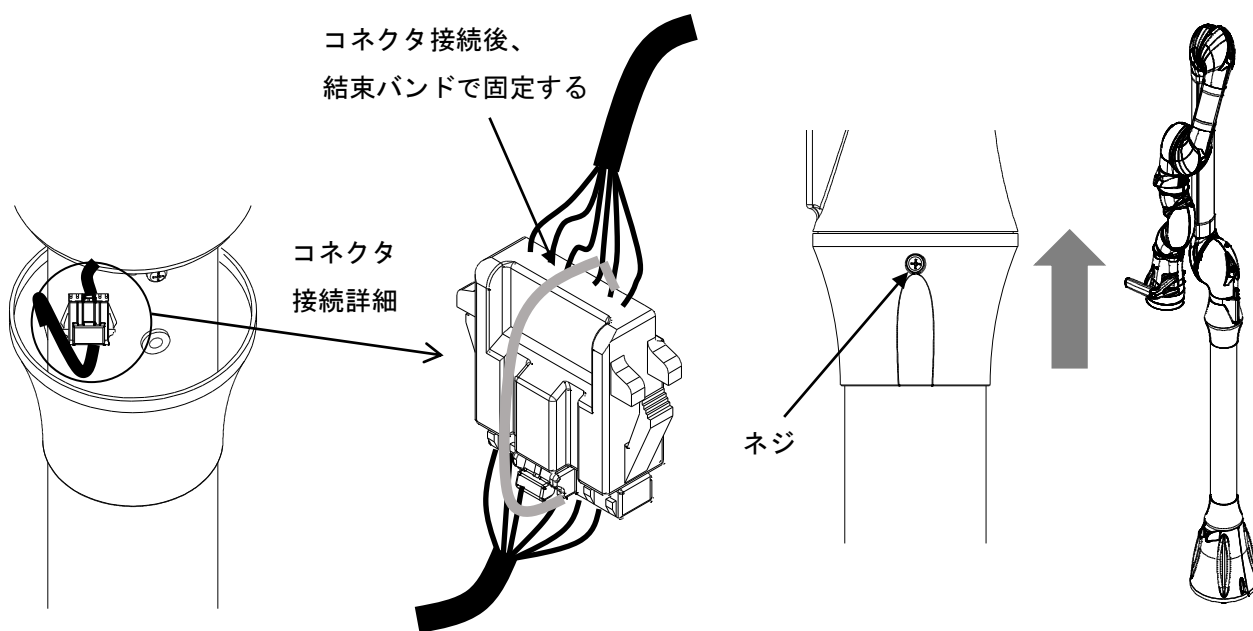


指示

- ・アームを固定用ポールに設置する際、配線の挟み込みに注意して行ってください。

## 取付方法

- ⑩コネクタを接続し、結束バンドでコネクタを固定してください。  
その後ポールカバーリング上部を持ち上げて再度ネジで固定してください。



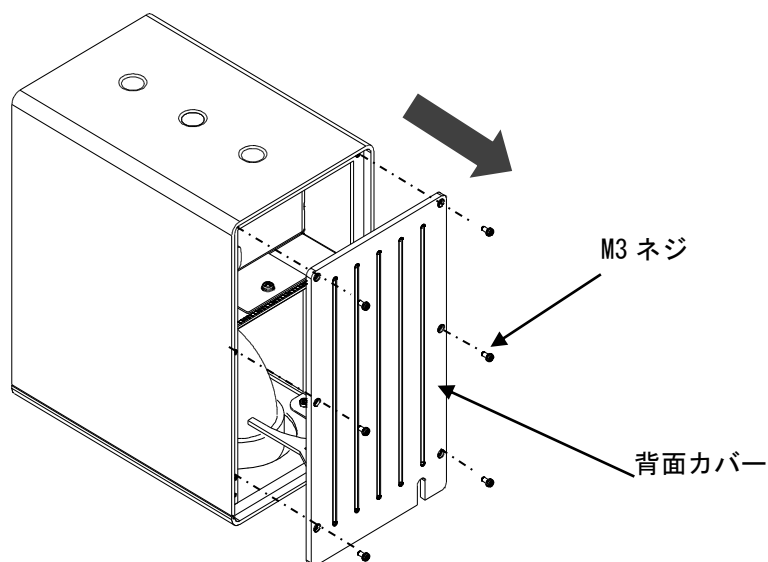
### ⚠ 注意



指示

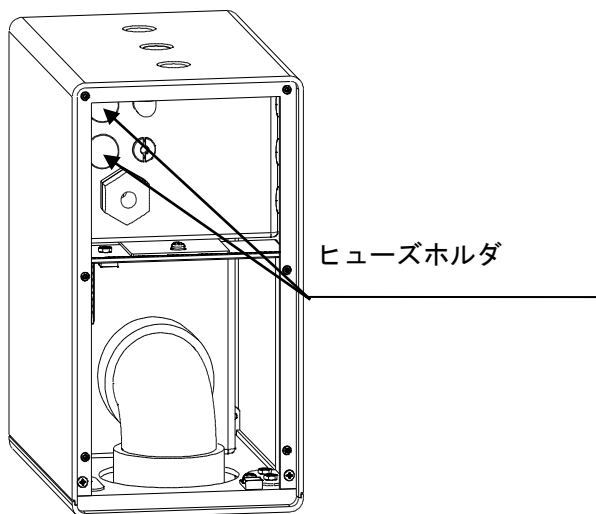
- ・コネクタは確実に接続してください。
- ・上側のポーリングカバーリングを持ち上げ固定する際、配線の挟み込みに注意して行ってください。

- ⑪ネジ6点を外し、F型用カバーの背面カバーを外してください。



## 取付方法

- ⑱ ヒューズホルダをドライバーで左に回して取り外し、ヒューズ (2A) × 2 を取り付けてください。  
ヒューズは袋に入った状態で、ヒューズホルダに仮固定されています。



### ⚠ 注意



指示

- ・ 当社指定のヒューズを使用してください。

- ⑲ 再度ヒューズホルダ、背面カバーを取り付けてください。

### ⚠ 注意



指示

- ・ 背面カバーを取付けるとき配線が挟みこむことが無いように注意してください。

- ⑳ 歯科用吸引装置ポンプから来ている操作線 (機械室から来ている操作線) とシャッタの操作線を接続してください。

### ⚠ 注意



指示

- ・ 接続の不良が無いよう確実に行ってください。

- ㉑ コンセントにシャッタの電源コードを挿してください。  
余分な電源コードはカバーボックス内に収納することが可能です。

- ㉒ 取扱説明書の P. 14~18 「使用方法」 を参照に動作の確認を行ってください。

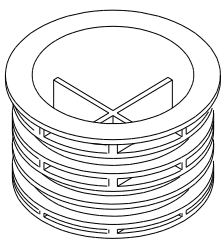
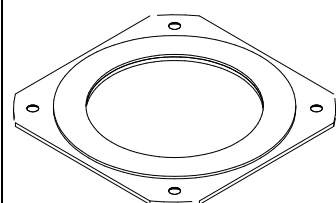
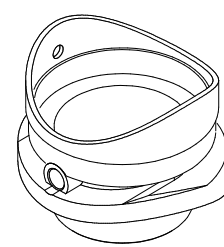
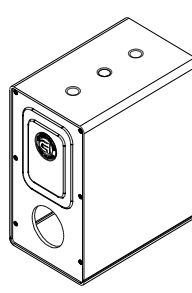
- ㉓ オプション品のリモコンを用いる場合は、本取付要領書 P. 37~39 の「リモコン (オプション品) のペアリング」を参照にリモコンのペアリングを行ってください。



## 取付方法

### ●シャッタ床下設置の場合

シャッタ床下設置において、下記部材は使用しません。

シャッタ床下設置 未使用部材一覧			
			
F型キャップ ×1個	パッキン ×1個	F型ソケット ×1個	カバーボックス（基板ボックス、シャッタボックス以外のすべて）×1個

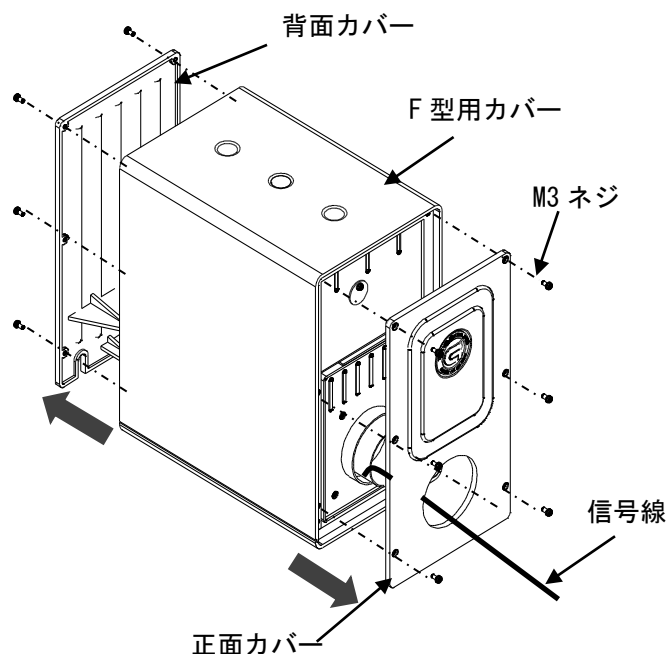
- ①固定用ポールの設置位置とシャッタの設置位置の関係を確認の上、フレキホースを適当な長さにカットしてください。

### ⚠ 注意



- ・フレキホースの長さは突っ張らない程度に、ある程度長さに余裕を持たせてください。フレキホースが最短の長さの場合、接続部に負担がかかり吸引漏れや破損の原因になります。

- ②F型用カバーのネジ12点を外して正面・背面カバーを外してください。  
正面カバーから信号線を抜いてください。  
※正面・背面カバーは今後使用しません。



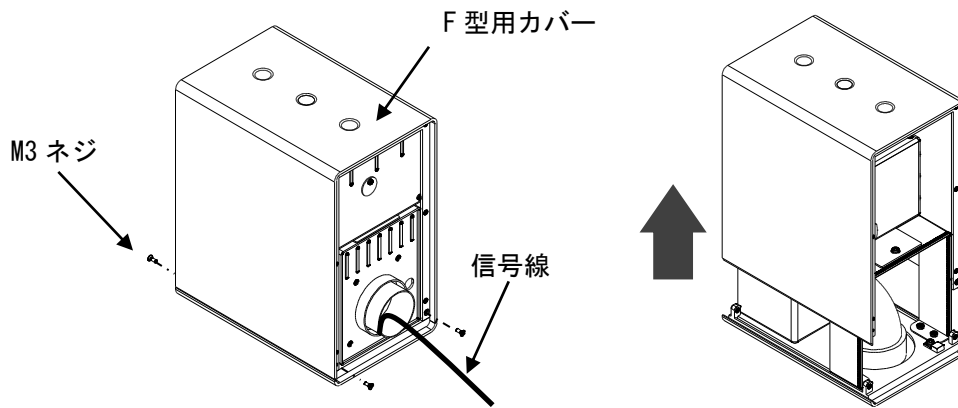
### ⚠ 注意



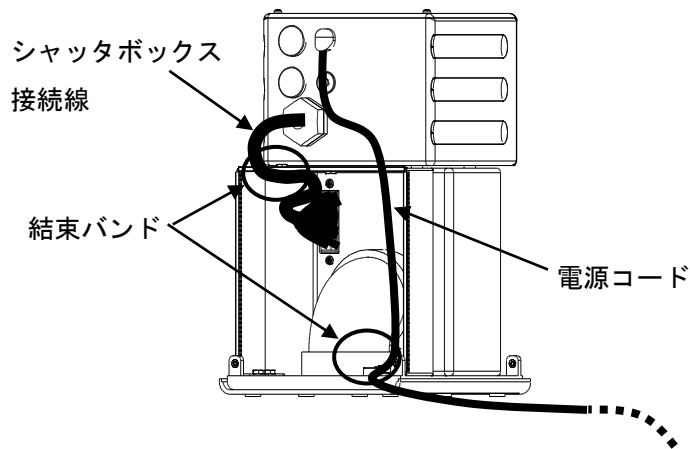
- ・正面カバー取り外す際は、信号線を引掛けないように注意してください。

## 取付方法

③F 型用カバーの両面の M3 ネジを 4 点外し、カバーを外してください。



④シャッターボックス接続線及び電源コードの結束バンドで固定されている箇所をカットしてください。



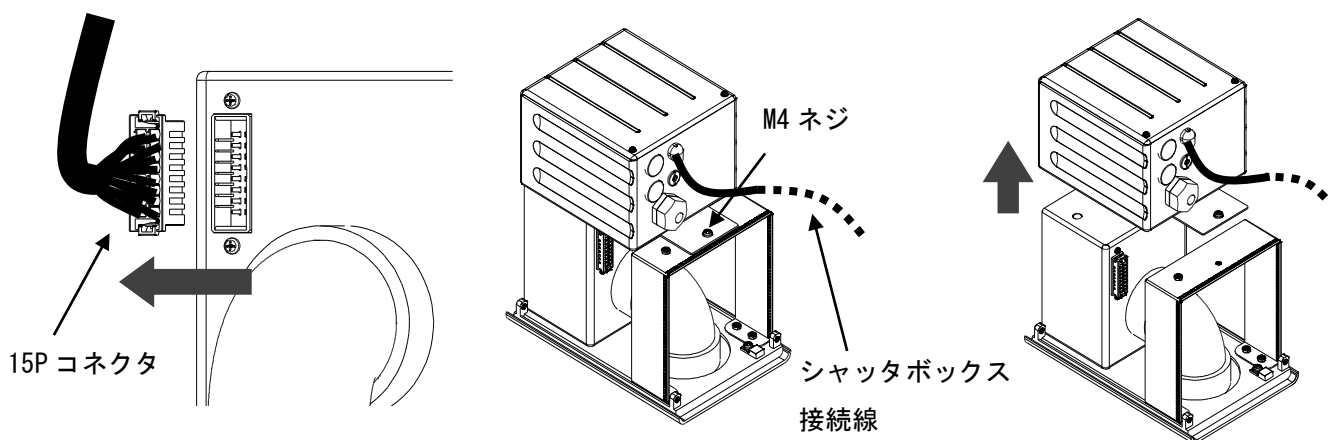
### ⚠ 注意



指示

・結束バンドをカットする際は、シャッターボックス接続線及び電源コードを傷つけないように注意してください。

⑤シャッターボックス接続線の 15P コネクタ及び M4 ネジ 1 点を外し、基板ボックスとカバーボックスを分離させてください。



### ⚠ 注意

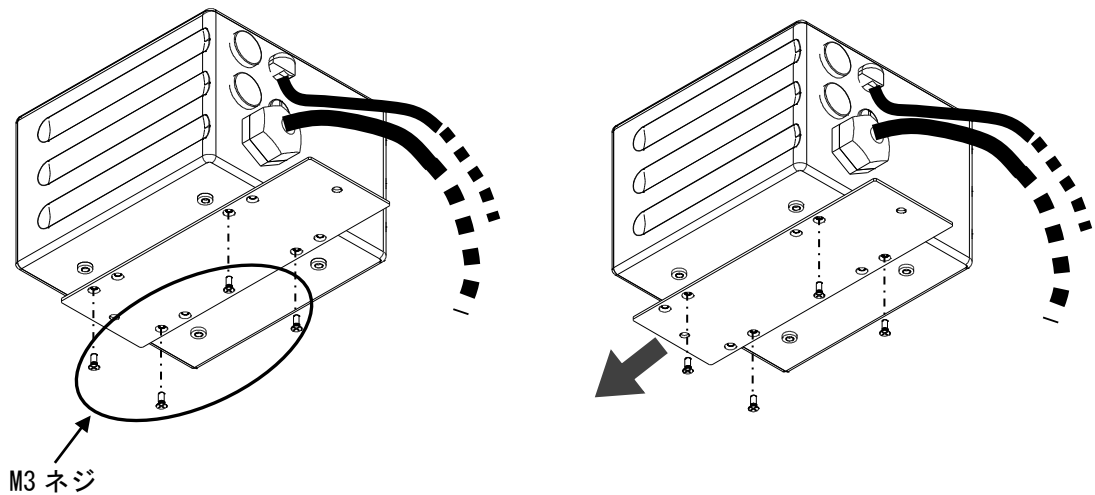


指示

・基板ボックスを取り外す際は、配線を引掛けないように注意してください。

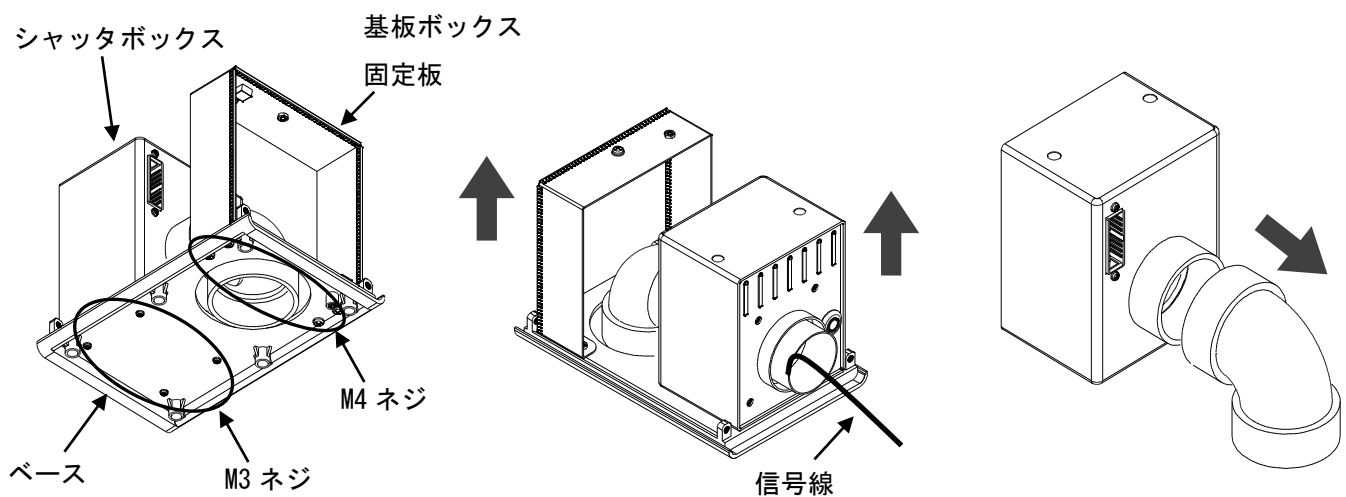
## 取付方法

- ⑥基板ボックスを床に固定する場合は、板金を固定している M3 ネジ 4 点を外し、板金をスライドさせてネジで再度固定してください。



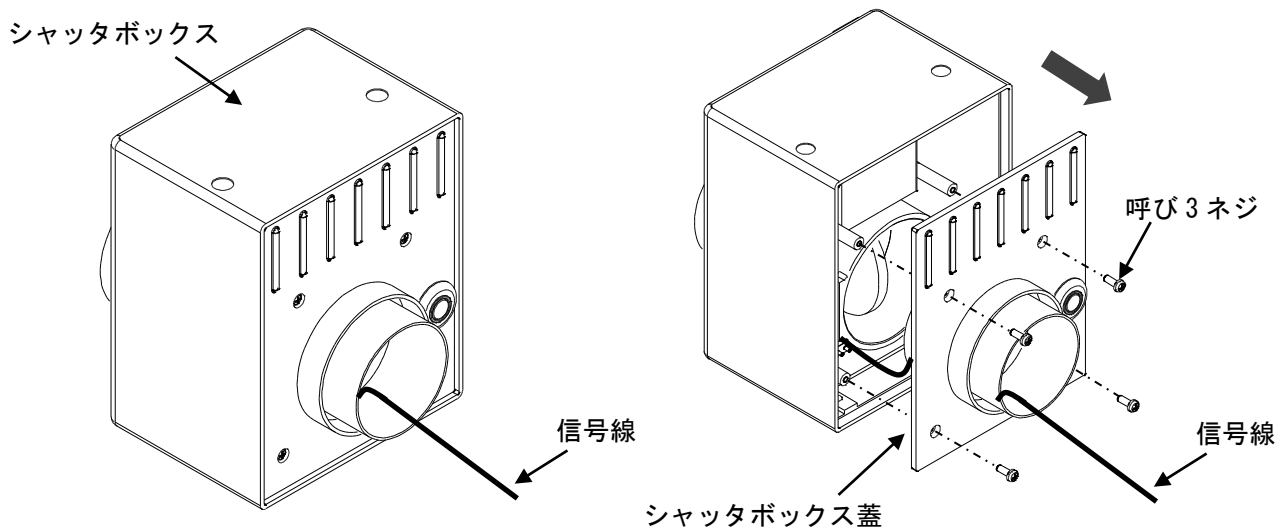
- ⑦底面の M4 ネジ 4 点を外し基板ボックス固定板と、M3 ネジ 4 点を外しシャッタボックスを外し、DV 継手ソケット DL50 を分離させてください。

※ベースと基板ボックス固定板と DV 継手ソケットは今後使用しません。





## 取付方法

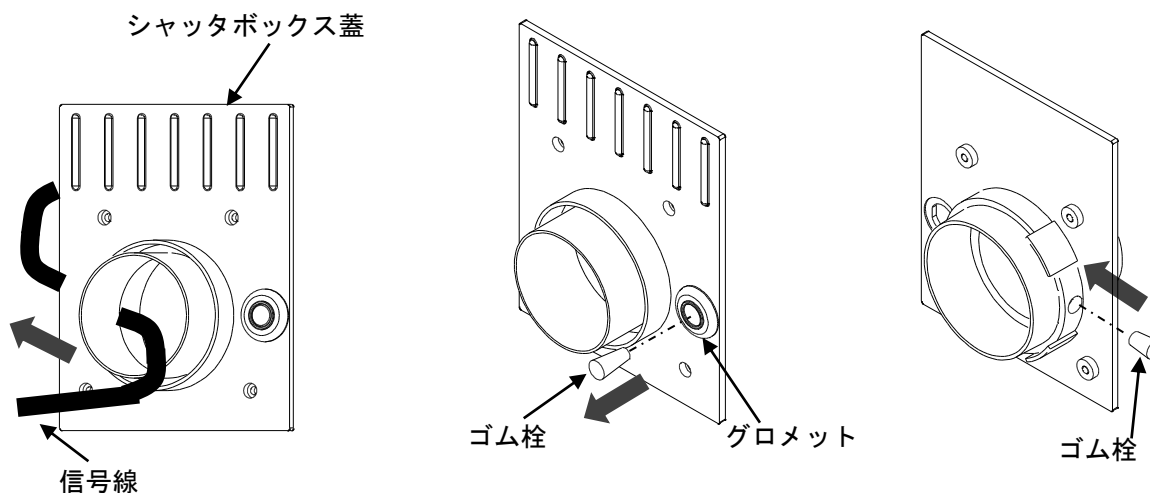
- ⑧ シャッタボックス正面の呼び3 タッピングネジ 4 点を外し、シャッタボックス蓋を外してください。  
信号線をホース内に通す場合は、⑫に進んでください。





### ⚠ 注意

 禁止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信号線を無理に引き出さないでください。</li> </ul>
 指示	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シャッタボックス蓋と信号線は繋がっているので、無理に引っ張らないよう注意してください。</li> <li>・呼び3 タッピングネジでネジ山を切らないように注意してください。</li> </ul>

- ⑨ シャッタボックス蓋から信号線を抜いて、グロメットに取り付いているゴム栓を取り外し信号線を抜いた穴に外側から差し込んでください。

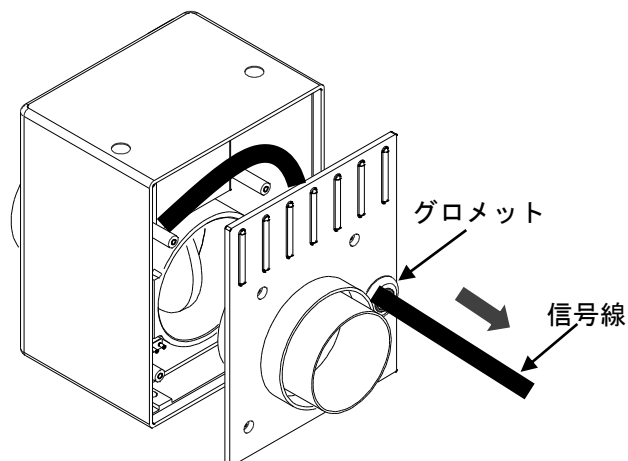


### ⚠ 注意

 禁止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信号線を無理に引き出さないでください。</li> </ul>
 指示	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴム栓は信号線を抜いた穴の外側から差し込んでください。</li> </ul>

## 取付方法

⑩ シャッタボックス内に収納されている信号線を、グロメット内を通し引き出してください。



### ⚠ 注意

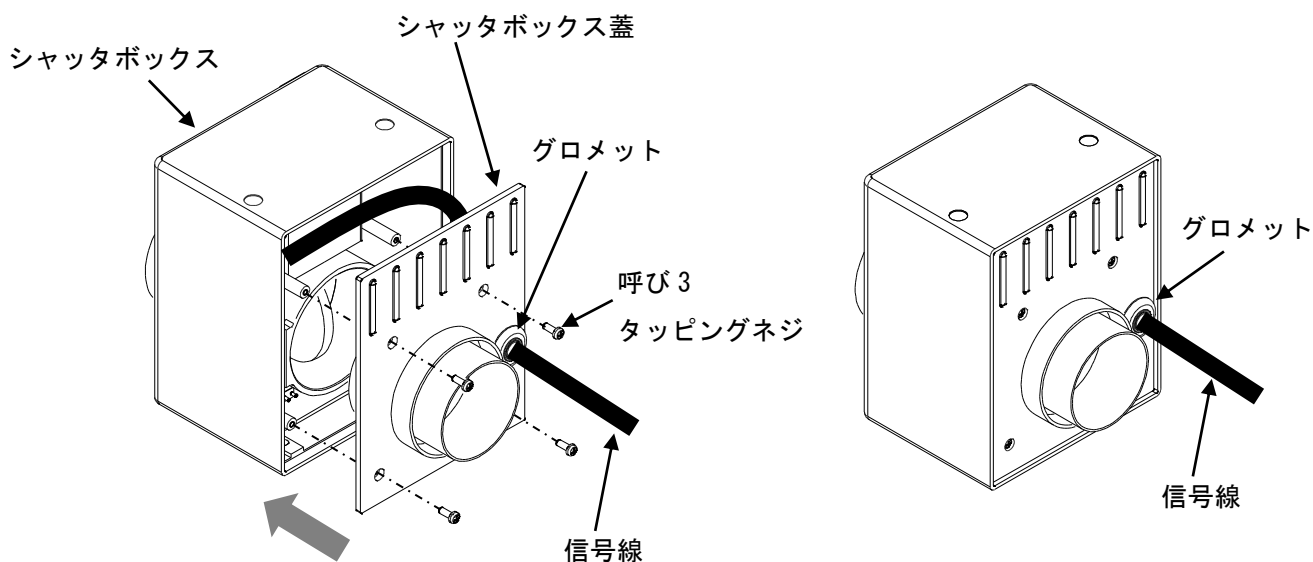


・信号線を無理に引き出さないでください。



・シャッタボックス蓋の向きに注意して、信号線を引き出してください。

⑪ シャッタボックス蓋を呼び3タッピングネジでシャッタボックスへ取り付けてください。



### ⚠ 注意



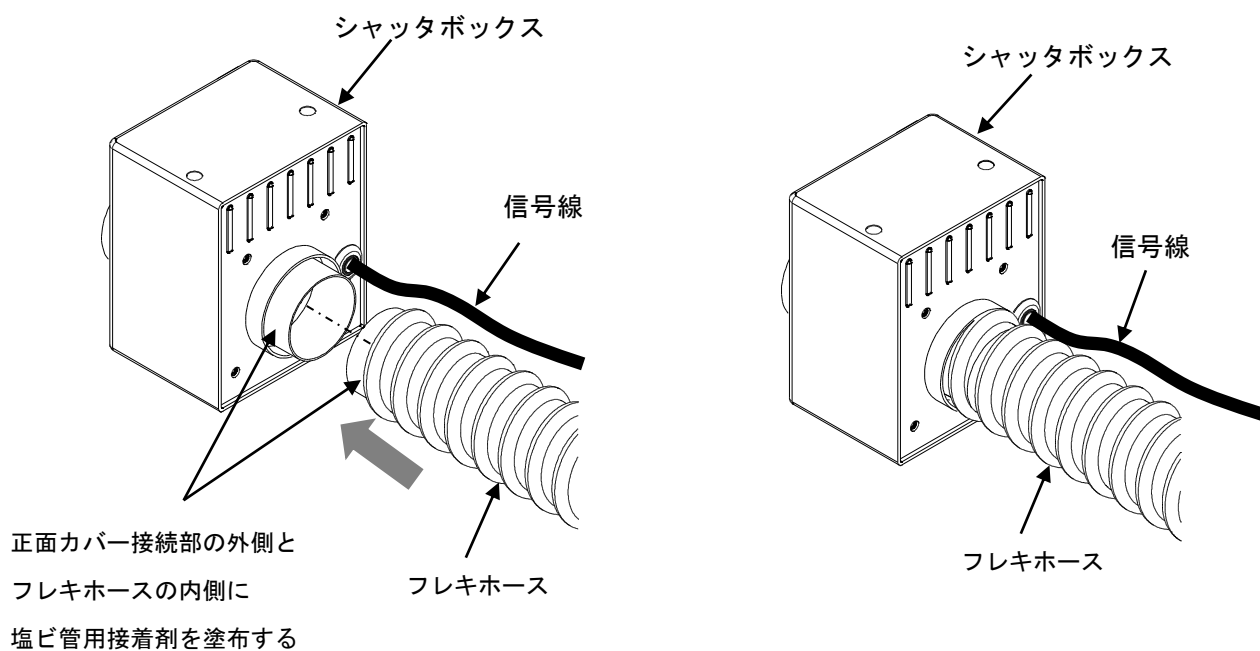
・信号線を無理に引き出さないでください。



・シャッタボックス蓋を取付ける際、配線が挟みこむことが無いように注意してください。  
・呼び3タッピングネジでネジ山を切らないように注意してください。

## 取付方法

- ⑫ シャッタボックスのホース接続部にフレキホースを塩ビ管用接着剤で接着してください。  
信号線をホース内に通した場合は、ホース内に通したまま塩ビ管用接着剤で接着してください。



### ⚠ 注意



指示

- ・適量使用し漏れなく接着してください。
- ・接着後、フレキホースが外れないことを確認してください。

- ⑬ フレキホースとI型ソケットを塩ビ管用接着剤で接着してください。  
(I型ソケットはOリング1個使いです。)  
※塩ビ管用接着剤は同梱されていません



### ⚠ 注意



指示

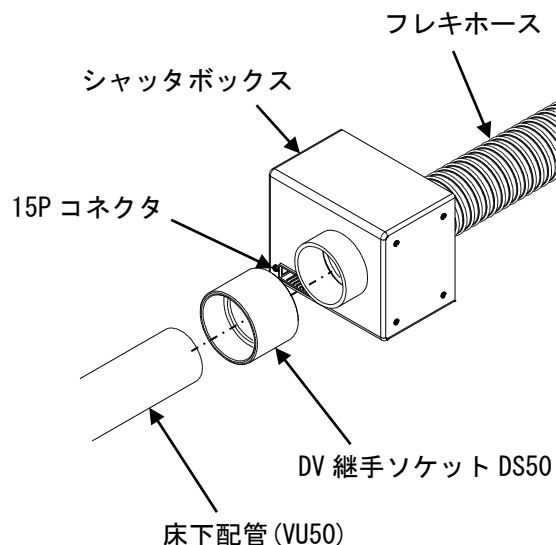
- ・適量使用し漏れなく接着してください。
- ・接着後、フレキホースとI型ソケットが外れないことを確認してください。
- ・I型ソケットにOリング1個が装着されていることを確認してください。  
F型ソケットは使用しないでください。

## 取付方法

⑭床点検口等から床下にアクセスし、床下配管 (VU50) とシャッタボックスを接続線の 15P コネクタが底面になるように接続してください。

接続は DV 継手ソケット DS50 を介してください。

※DV 継手ソケット DS50 は同梱されていません。



### ⚠ 注意



禁止

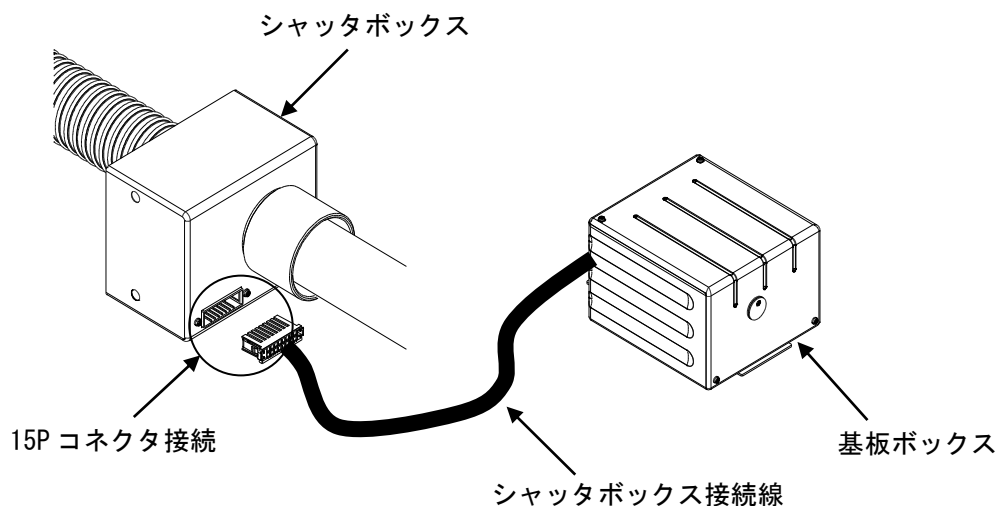
・シャッタと床下配管は接着しないでください。



指示

・エア漏れの原因となる場合がございますので、確実に床下配管とシャッタボックスは接続してください。  
 ・シャッタボックスは接続線の 15P コネクタが底面になるように接続してください。

⑮基板ボックスを床下へ設置し、基板ボックスから出ているシャッタボックス接続線の 15P コネクタをシャッタボックスへ接続してください。



### ⚠ 注意



指示

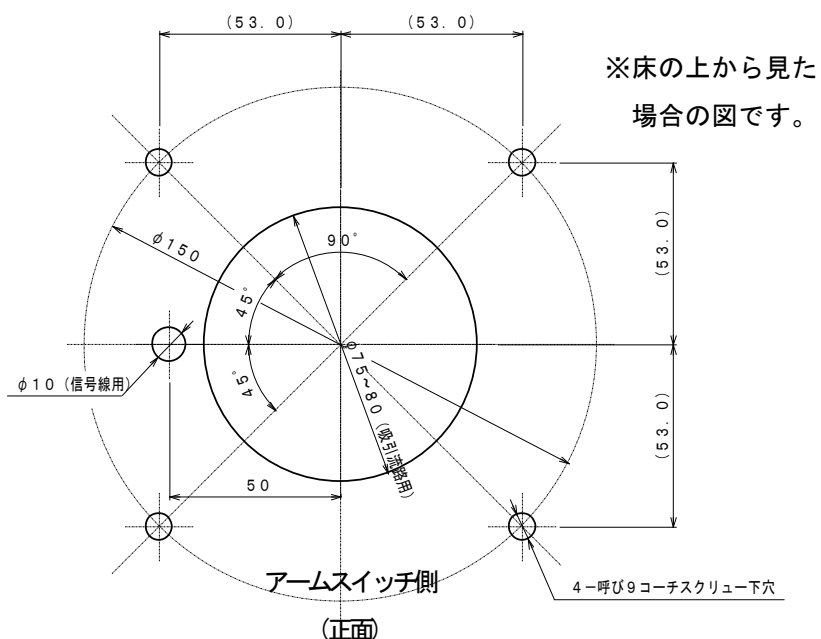
・コネクタの接続は確実に行ってください。

## 取付方法

⑩固定用ポールの設置箇所を確認し、以下のように床面に穴加工を行ってください。

コーチスクリューの下穴は必要に応じて加工してください。

※メンテナンスやポールのアームスイッチの ON・OFF ができるようなスペースは確保してください。



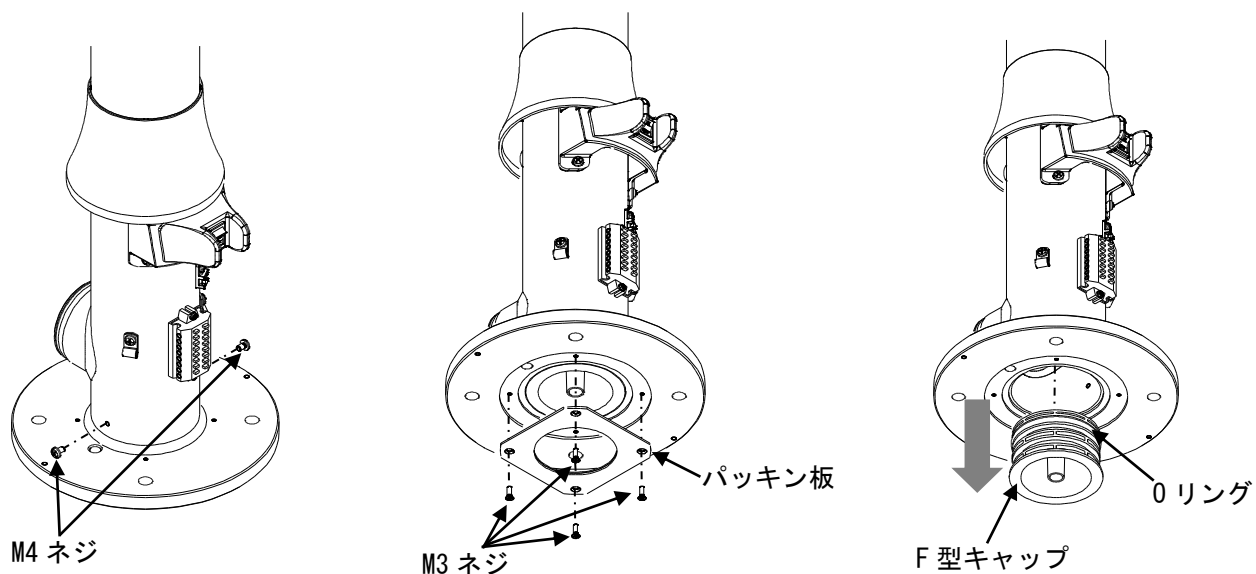
### ⚠ 注意



指示

- ・ 取付角度(アームスイッチ方向)を確認してから穴を開けてください。
- ・ 取付床面に傾きや凹凸がないことを確認してください。

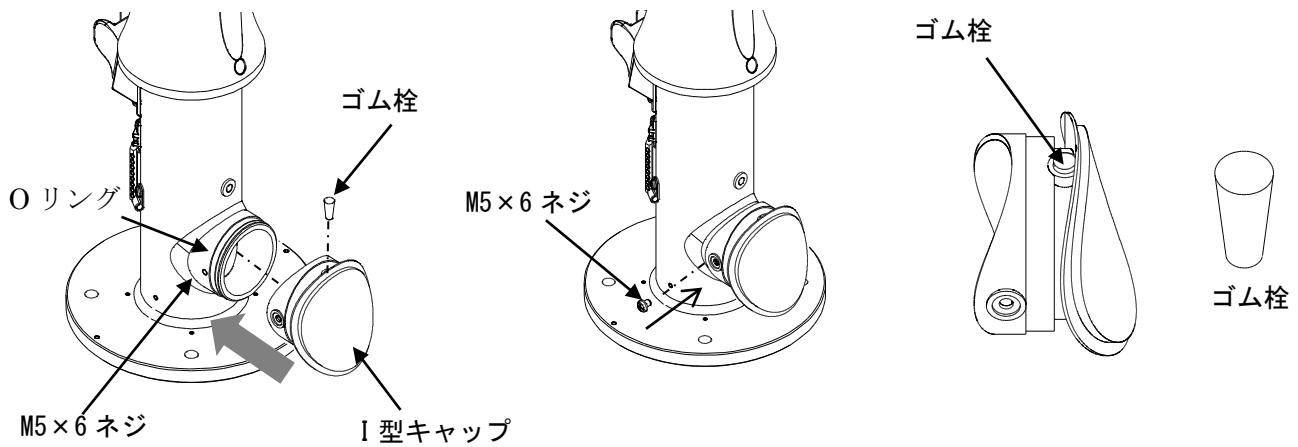
⑪固定用ポールの側部の M4×8 ネジ 2 点を外してから、固定用ポールの底面の M3×10 皿ねじ 4 点を外しパッキン板を外してください。F 型キャップを取り外してください。





## 取付方法

- ⑩固定用ポールの側部に止められている M5×6 ネジ 1 点を外し、固定用ポールの側部に I 型キャップを奥に突き当たるまで差し込んでください。I 型キャップの側面から外した M5×6 ネジで固定してください。I 型キャップはゴム栓で配線穴が塞がれています。⑧～⑪にて信号線をフレキホース内部から通した場合はゴム栓を外し、その穴より信号線を外に出してください。



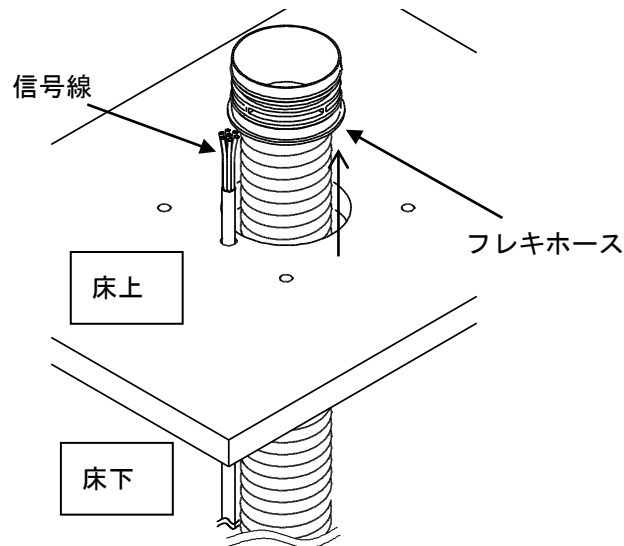
### ⚠ 注意



指示

- ・F型キャップは使用しないでください。
- ・I型キャップにゴム栓が取り付けられていることを確認してください。

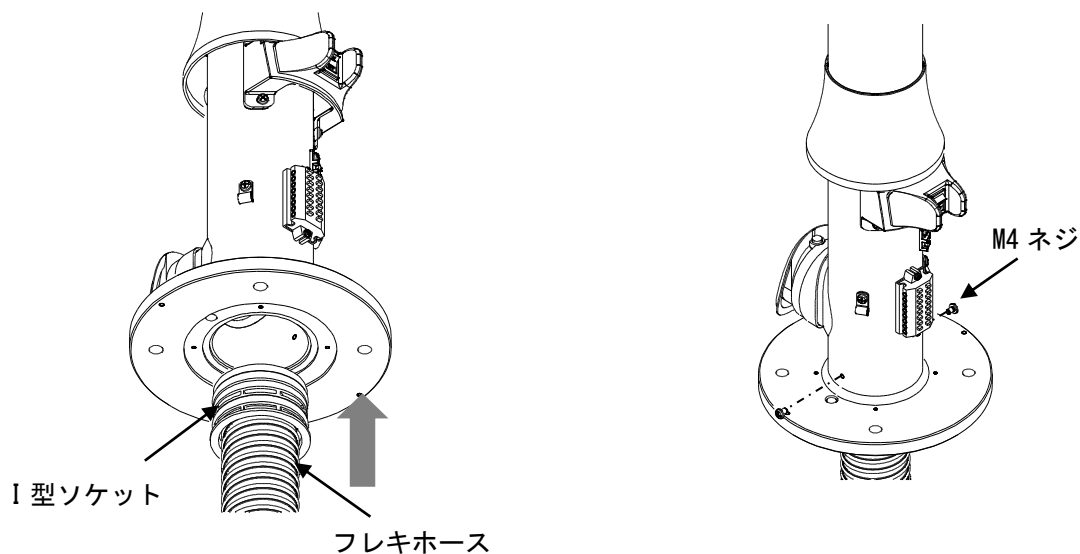
- ⑪床下からフレキホースと信号線をそれぞれの穴から通し、引き出してください。



## 取付方法

⑩フレキホースを固定用ポールの下側から取り付けてください。接続はI型ソケットのツバが突き当たるまで差し込んでください。

固定用ポール側面から⑩で外した M4×8 ネジ 2 点で固定してください。



### ⚠ 注意

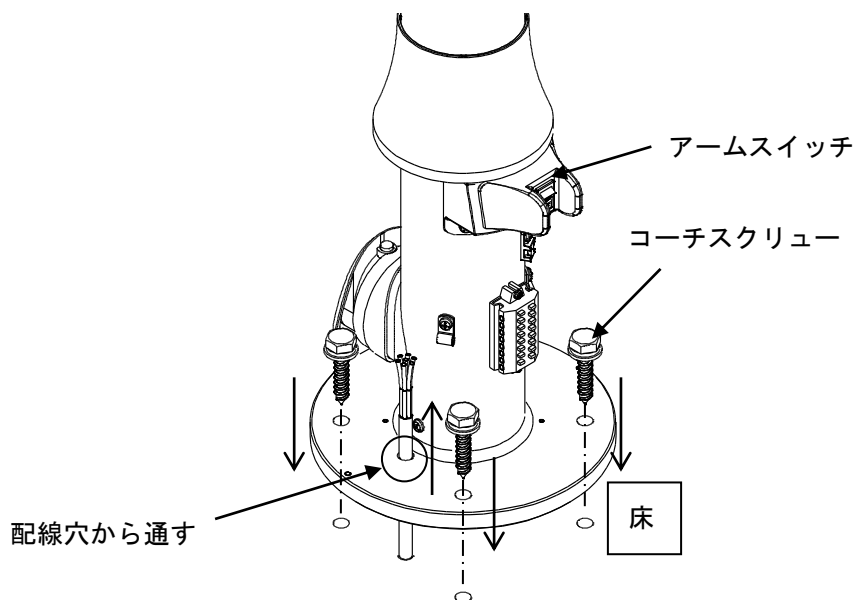


指示

・フレキホース装着後、軽くフレキホースを引っ張りポールから抜けないことを確認してください。

⑪信号線を固定用ポール下側の配線穴から通してください。

附属品のコーチスクリューに SW ワッシャ、平ワッシャを入れ、4 点で固定用ポールを床に設置してください。



### ⚠ 注意



禁止

・一度取り付けたコーチスクリューは取り外さないでください。  
万が一、間違えて取付を行ってしまった場合、コーチスクリューの下穴を別の場所や角度を変更し再度開けてから取付を行ってください。

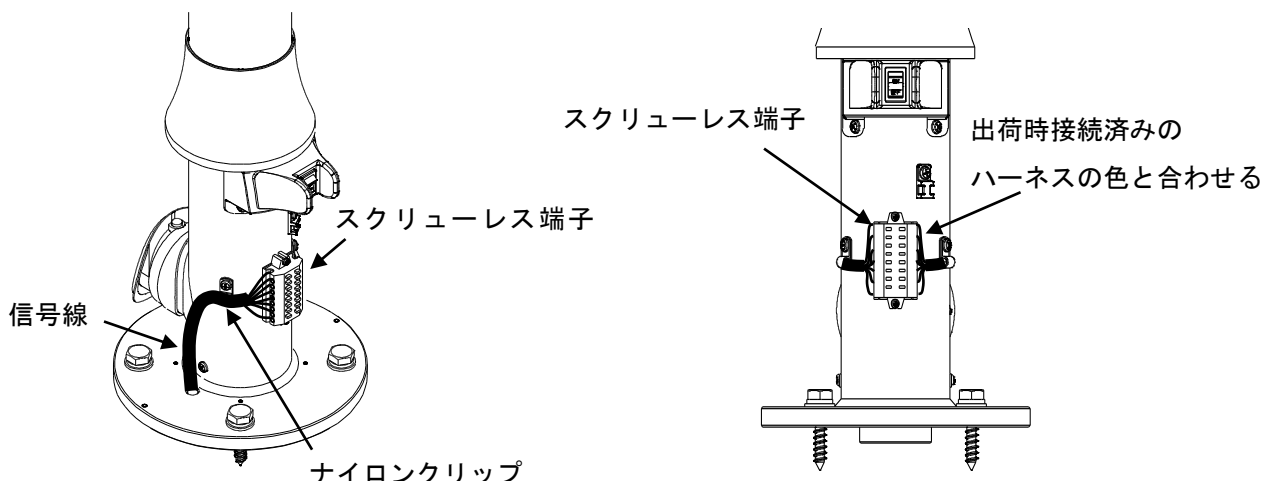


指示

・取付角度(アームスイッチ)を確認してから取り付けてください。  
・信号線やフレキホースを挟み込まないように注意してください。

## 取付方法

- ⑫信号線を下図のように引き回し、適当な長さにカットして被覆を先端から約10mm剥いてください。  
 信号線をスクリーレス端子台に接続し、ナイロンクリップにて固定してください。  
 スクリーレス端子台への接続は相手のハーネスの色に合わせてください。



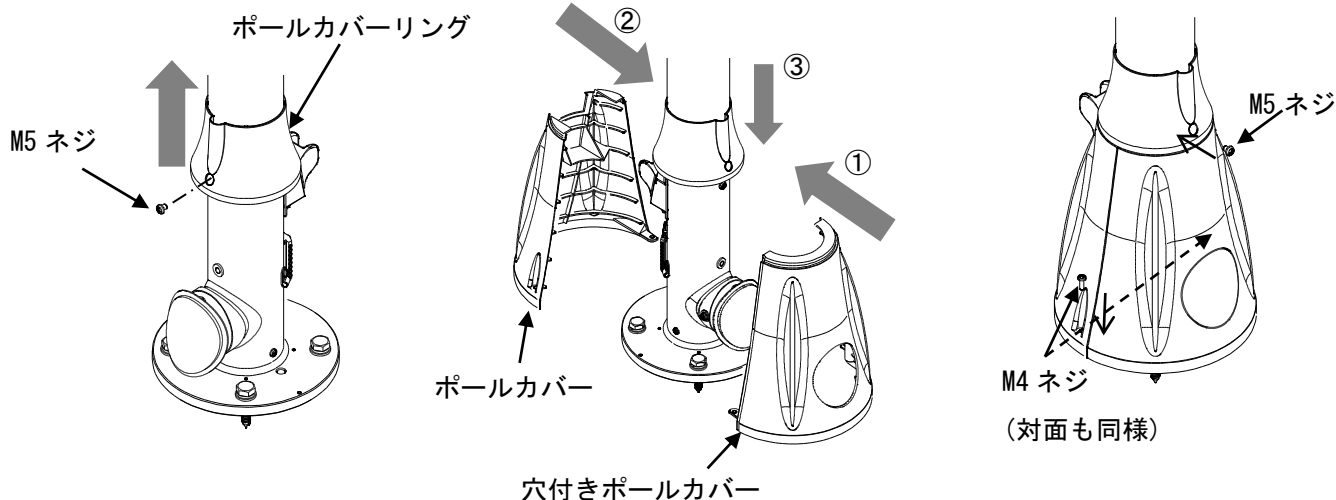
### ⚠ 注意



指示

- ・信号線のカットは接続時に突っ張ることが無いように長さに余裕を持たせてください。
- ・信号線それぞれの接続ミスが起こらないように必ず色を合わせてください。  
 接続ミスをするるとショートして基板が破損してしまう可能性があります。
- ・信号線それぞれをスクリーレス端子台に取り付けた後、軽く引張り、スクリーレス端子台から抜けることがないことを確認してください。

- ⑬下側のポールカバーリングの M5 ネジ 1 点を外し、ポールカバーリングを少し上へスライドさせ、穴付きポールカバーとポールカバーを固定台ポールに取付けてください。  
 再度ポールカバーリング下部を下へスライドさせ、M5 ネジ 1 点で取り付けてください。  
 また附属品の M4×10 ネジ 2 点で穴付きポールカバー及びポールカバーを固定してください。



### ⚠ 注意

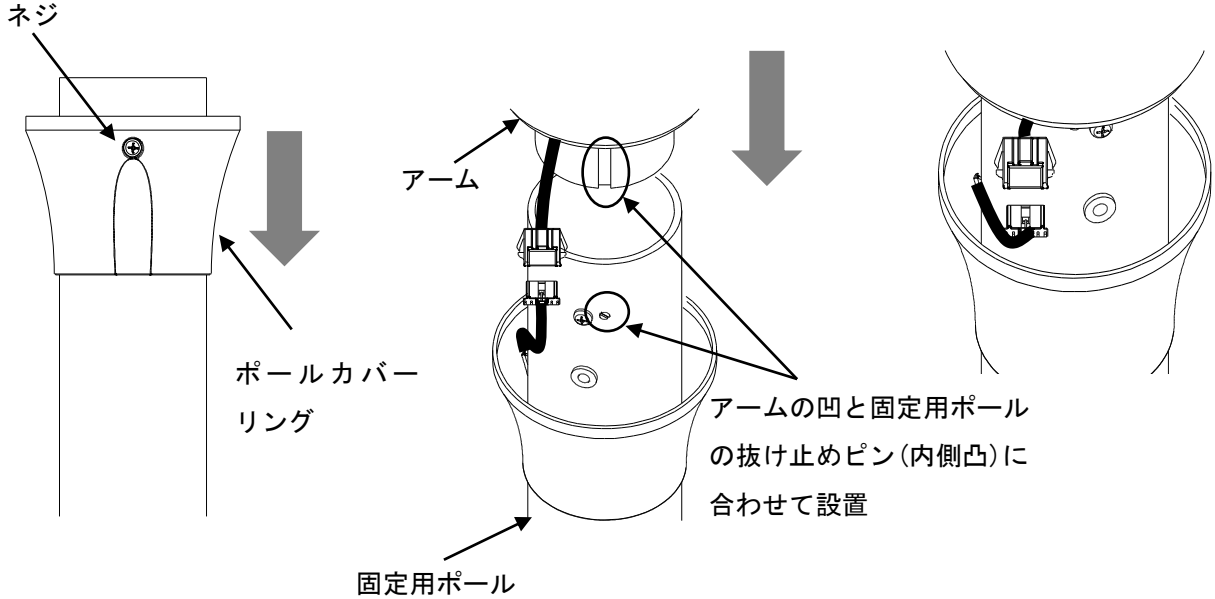


指示

- ・ポールカバーリングを上へスライドさせる際、ハーネスが引っ張られないように注意してください。
- ・ネジの締め込み過ぎに注意してください。
- ・ポールカバーリングや穴付きポールカバー、ポールカバーの材質が樹脂のため、潰れる可能性があります。

## 取付方法

- ②④ 上側のポールカバーリングのネジ1点を外し、ポールカバーリングを下へスライドさせてください。  
アームの凹部と固定用ポールの抜け止めピン(内側凸)に合わせて、アームを固定用ポールに設置してください。



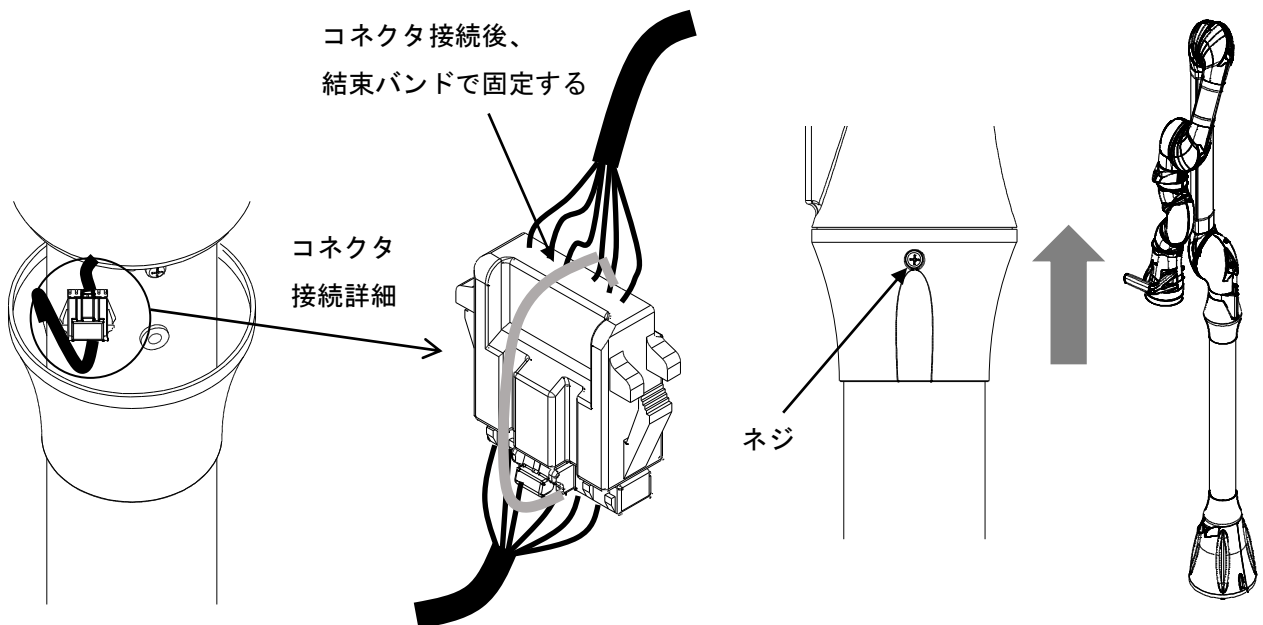
### ⚠ 注意



指示

- ・アームを固定用ポールに設置する際、配線の挟み込みに注意して行ってください。

- ②⑤ コネクタを接続し、結束バンドでコネクタを固定してください。  
その後ポールカバーリング上部を持ち上げて再度ネジで固定してください。



### ⚠ 注意

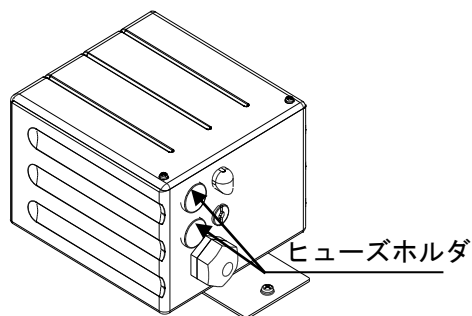


指示

- ・コネクタは確実に接続してください。
- ・上側のポーリングカバーリングを持ち上げ固定する際、配線の挟み込みに注意して行ってください。

## 取付方法

- ②⑥ ヒューズホルダをドライバーで左に回して取り外し、ヒューズ (2A) × 2 を取り付けてください。  
ヒューズは袋に入った状態で、ヒューズホルダに仮固定されています。



- ②⑦ 再度ヒューズホルダを取り付けてください。

- ②⑧ 歯科用吸引装置ポンプから来ている操作線 (機械室から来ている操作線) とシャッタの操作線を接続してください。

### 注意



・ 接続の不良が無いよう確実に行ってください。

- ②⑨ コンセントにシャッタの電源コードを挿してください。

- ③⑩ 取扱説明書の P. 14~18 「使用方法」 を参照に動作の確認を行ってください。

- ③⑪ オプション品のリモコンを用いる場合は、本取付要領書 P. 37~39 の「リモコン (オプション品) のペアリング」を参照にリモコンのペアリングを行ってください。

## ◆リモコン(オプション品)のペアリング

### 警告



禁止

・本作業では電気が流れている基板や電気部品が露出されるため、指示された箇所以外は絶対に触らないでください。



指示

・感電防止のため、グローブを着用してから行ってください。

ペアリングを行うことで、クリーニングモードを使用できます。

クリーニングモードはリモコン1台、1回の操作で設置しているシーテクト-FIをすべてクリーニングモードの稼働をさせることが可能です。

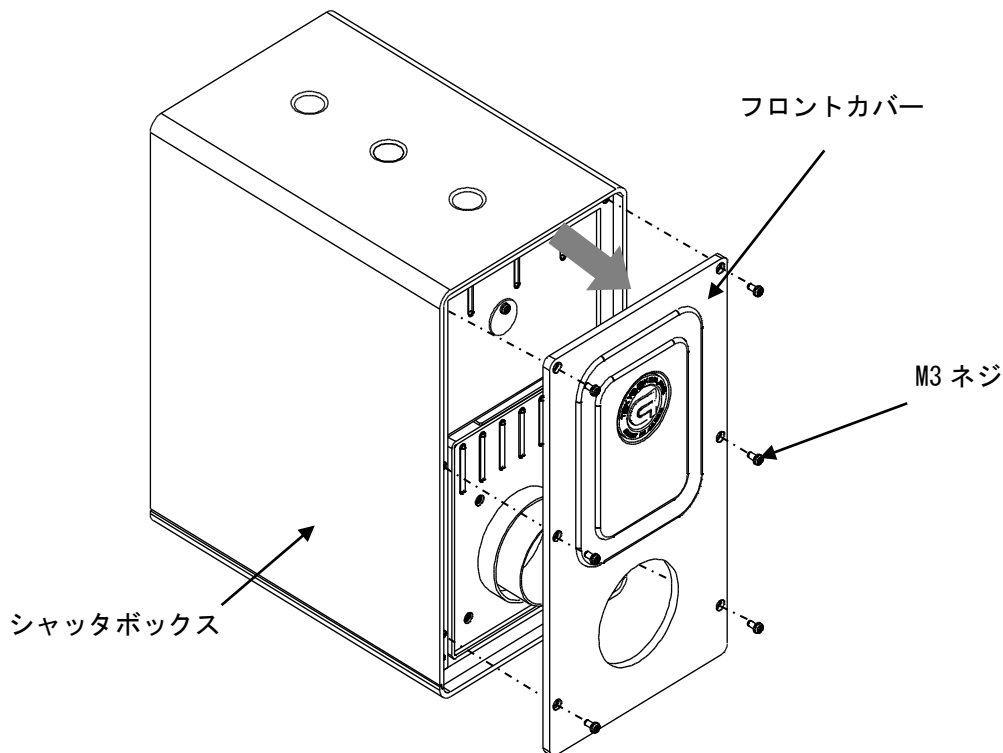
リモコンを使用出来るようにするためには、それぞれのシャッタに対してペアリングを行う必要があります。

※リモコンはオプション品です。

### ●シャッタ床上設置の場合

①アームスイッチをONにしてください。

②シャッタの正面のフロントカバーのネジ6点を外し、フロントカバーを外してください。

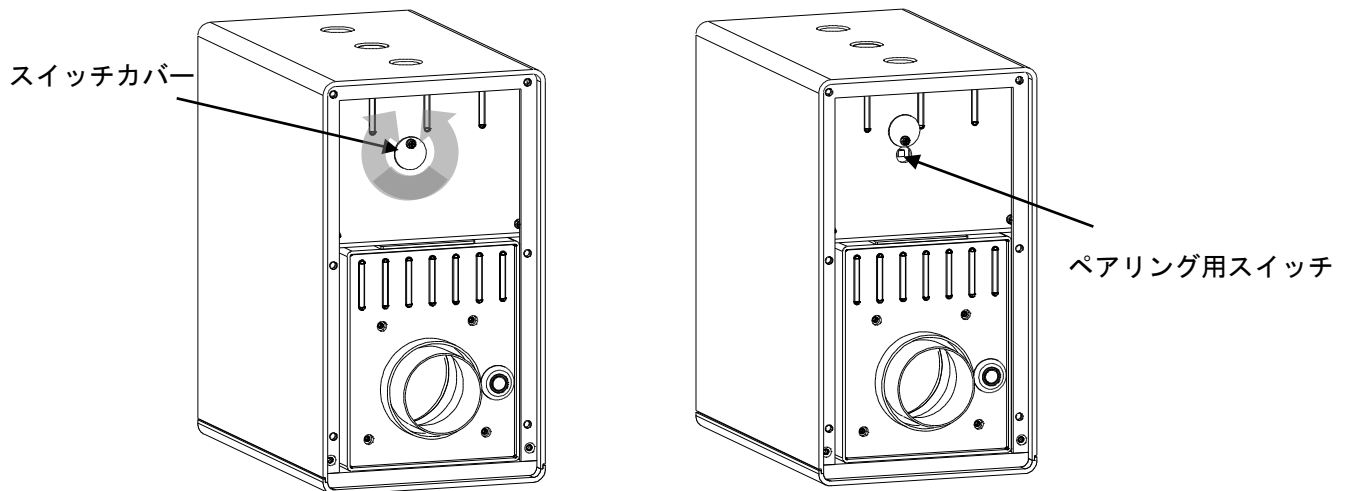


## 取付方法

- ③正面上段の基板ボックスのスイッチカバーのネジを少し緩めてから回転させると、ペアリング用スイッチカバーが露出するのでペアリング用スイッチを約3秒間押し、手を離してペアリングモードに移行してください。ペアリングモードに移行すると、アームのLEDライトが点滅を繰り返します。

※ペアリング用スイッチを約3秒間押した後、手を離さないでペアリングモードに移行しません。

※ペアリングモード中はアームのセンサースイッチやLEDライトスイッチは機能しなくなります。ペアリングモード移行後に解除したい場合は、ペアリング用スイッチを再度約3秒間押ししてください。



- ④リモコンのOFFボタンを押してください。ペアリングが完了します。完了するとアームのLEDライトが3回高速点滅した後、消灯します。
- ⑤フロントカバーを再び取り付けてください。

### ⚠ 注意



指示

・配線を挟み込むことが無いように注意してください。

- ⑥リモコンのON、OFFボタンを押し、正常にクリーニングモードが行われるかを確認してください。

### ⚠ 注意



指示

・ペアリングはアームを接続しない状態でも行えますが、ペアリングが完了したことが見た目では識別できないため、動作確認にてペアリングが完了したことを確認してください。

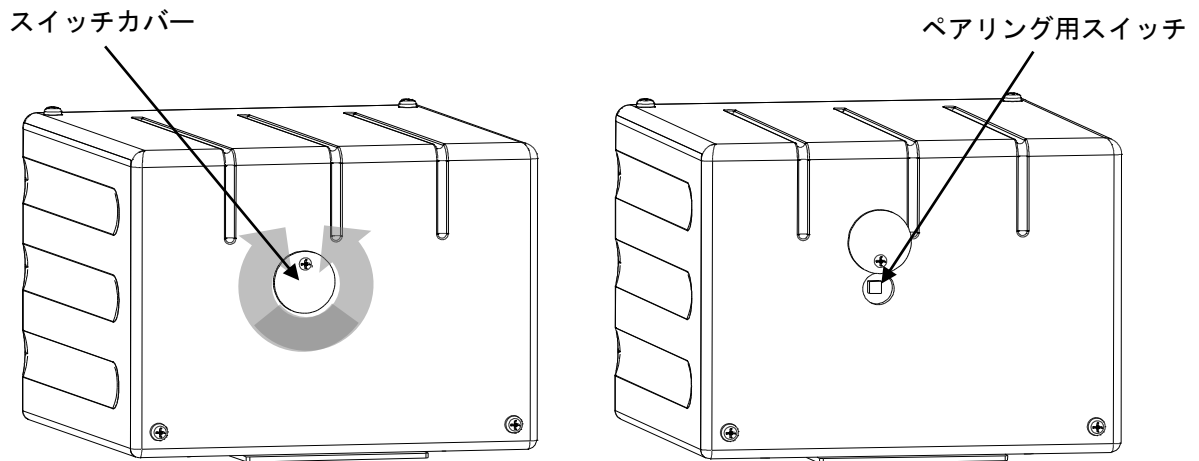
### ●シャッタ床下設置の場合

①アームスイッチを ON にしてください。

②基板ボックスのスイッチカバーのネジを少し緩めてから回転させると、ペアリング用スイッチカバーが露出するのでペアリング用スイッチを約 3 秒間押し、手を離してペアリングモードに移行してください。ペアリングモードに移行すると、アームの LED ライトが点滅を繰り返します。

※ペアリング用スイッチを約 3 秒間押した後、手を離さないとペアリングモードに移行しません。

※ペアリングモード中はアームのセンサースイッチや LED ライトスイッチは機能しなくなります。ペアリングモード移行後に解除したい場合は、ペアリング用スイッチを再度約 3 秒間押してください。



③リモコンの OFF ボタンを押してください。ペアリングが完了します。完了するとアームの LED ライトが 3 回高速点滅した後、消灯します。

④リモコンの OFF ボタンを押し、正常にクリーニングモードが行われるかを確認してください。

### ⚠ 注意



指示

・ペアリングはアームを接続しない状態でも行えますが、ペアリングが完了したことが見た目では識別できないため、動作確認にてペアリングが完了したことを確認してください。



## ◆リモコン(オプション品)のペアリング解除

### 警告



・本作業では電気が流れている基板や電気部品が露出されるため、指示された箇所以外は絶対に触らないでください。



・感電防止のため、グローブを着用してから行ってください。

### ●シャッタ床上設置の場合

- ①本取付要領書 P. 36~37 の「リモコン(オプション品)のペアリング」を参照に、ペアリング用スイッチを露出させてください。
- ②ペアリング用スイッチを 15 秒長押ししてください。  
完了するとアームの LED ライトが点滅します。
- ③リモコンの ON、OFF ボタンを押し、ペアリングが解除されたかを確認してください。

### 注意



・ペアリング解除はアームを接続しない状態でも行えますが、ペアリング解除が完了したことが見目で識別できないため、動作確認にてペアリングが完了したことを確認してください。

- ④フロントカバーを再び取り付けてください。

### 注意



・配線を挟み込むことが無いように注意してください。

### ●シャッタ床下設置の場合

- ①本取付要領書 P. 38 の「リモコン(オプション品)のペアリング」を参照に、ペアリング用スイッチを露出させてください。
- ②ペアリング用スイッチを 15 秒長押ししてください。  
完了するとアームの LED ライトが点滅します。
- ③リモコンの OFF ボタンを押し、ペアリングが解除されたかを確認してください。

### 注意



・ペアリング解除はアームを接続しない状態でも行えますが、ペアリング解除が完了したことが見目で識別できないため、動作確認にてペアリングが完了したことを確認してください。

型式	シーテクト-FI
電源	単相交流 100V
電流	0.2A
周波数	50/60Hz
ヒューズ	交流 125V 2A B種溶断型
電撃に対する保護の形式	クラスⅡ機器
電撃に対する保護の程度による装着部の分類	装着部無し
作動モード	連続
水の浸入に対する保護の程度	IPX0
空気・可燃性麻酔ガス、又は酸素又は亜酸化窒素・可燃性麻酔ガスのある中での使用の安全性の程度	空気・可燃性麻酔ガス、又は酸素又は亜酸化窒素・可燃性麻酔中での使用に適しない機器

※記載された数値は保証値ではございません。

※仕様は予告なく変更する場合がございます。取付時をご確認ください。



歯科用セントラルサクションシステムの専門メーカー



URL:<http://www.tokyogiken.com> E-mail:[TG@tokyogiken.com](mailto:TG@tokyogiken.com)

本社：〒158-0087 東京都世田谷区玉堤1-25-13  
TEL：03-3703-5581(代) FAX：03-3705-1760

大阪支店：〒564-0051 大阪府吹田市豊津町59-5  
TEL：06-6368-8877 FAX：06-6368-8876

仙台営業所：〒981-3112 仙台市泉区八乙女4-10-4  
TEL：022-371-9651 FAX：022-371-9653

名古屋営業所：〒465-0007 名古屋市名東区香坂1001  
TEL：052-776-3355 FAX：052-776-3356

福岡営業所：〒812-0015 福岡市博多区山王1-15-7  
TEL：092-411-0377 FAX：092-411-0376

横浜工場：〒224-0023 横浜市都筑区東山田4-42-37

※仕様は予告なく変更する場合がございます。

TGYA1-01V-15001F  
TGD000076-01-02